

地方独立行政法人山梨県立病院機構  
令和元年度計画の上半期の実施状況

令和元年12月18日

地方独立行政法人山梨県立病院機構

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 医療の提供  
(1) 政策医療の提供

1 医療の提供  
県立病院機構は、政策医療を確実に県民に提供するとともに、医療の質の向上に努め、県民に信頼される医療を提供すること。  
(1) 政策医療の提供  
救命救急医療、総合周産期母子医療、精神科救急・急性期医療、児童思春期精神科医療など、他の医療機関では対応が困難であるが県民生活に欠かすことのできない政策医療を提供し、本県の基幹病院としての役割を果たすこと。  
また、がん、難病、エイズ、感染症といった県の拠点病院に指定されている疾病について重点的に取り組み、本県の医療水準の向上に先導的な役割を果たすこと。  
さらに、心神喪失者等医療観察法に基づく指定医療機関としての医療を提供するとともに、精神科の重度・慢性入院患者、重症通院患者の社会復帰を目指すこと。  
なお、政策医療の提供に当たっては、引き続き県内の医療機関、関係行政機関等と適切な連携及び協力をを行うこと。

中期計画	年度計画
<p>第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療の提供 山梨県の基幹病院として求められる政策医療を的確に実施するとともに、高度・特殊・先駆的な医療の推進をはじめ、県民に信頼される質の高い医療を提供する。</p> <p>(1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p>	<p>第1 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療の提供</p> <p>(1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p>
<p>ア 救命救急医療 山梨県の三次救急医療を担う救命救急センターを中心に救命救急医療を提供するとともに、新たに患者の重症度や緊急性に応じ、柔軟に対応する総合診療科等を開設し、他の医療機関とも連携する中で、救命救急医療の充実を図る。 また、ドクターヘリ及びドクターカーの活用により、早期の救命救急医療を提供する。</p>	<p>ア 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三次救急医療を担う救命救急センターと各診療科が連携を図り、迅速で効率的な治療を行う。</li> <li>ドクターヘリ及びドクターカーの活用により、早期の救命救急医療を提供する。</li> <li>総合診療科・感染症科において、どの診療科にも属さない診断困難な患者の診療を行うとともに、救命救急センターと連携し、患者の重症度や緊急性に応じて柔軟に対応していく。</li> <li>救命救急センターにおいて、広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾病患者に対する救命医療を行うため、「高度救命救急センター」の指定を受け、より高度で専門的な救命医療を提供する。</li> <li>より充実した救命救急医療を提供するため、救命救急センターの区画を拡充し、三次救急患者だけでなく、二次救急患者の診療が可能となるよう整備していく。また、結核などの感染症隔離室を設置していく。</li> <li>三次救急医療を維持していくため、急性期患者転院について協定先の医療機関との連携を推進する。</li> </ul>

令和元年度上半期 業務実施状況

救命救急センターでは、各消防本部からの要請により、24時間体制で、三次救急患者を受け入れている。また、二次救急患者など必ずしも救命救急センターの対応症例でない患者についても受け入れており、セーフティーネットの役割も担っている。

広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の患者に対する救命医療を行うため、平成31年4月に「高度救命救急センター」の指定を受け、より高度で専門的な救急医療を提供できる体制を整備している。

救命救急センターの患者数は、前年同期と比べて59.3%増の1,838人となっている。

救命救急センターの救急患者の状況 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
患者数	1,119	1,307	2,137	2,840	2,175	2,038	2,205	2,311	2,325	1,089	1,016	1,054	1,072	1,154	1,838	(59.3%増)
手術件数	36	37	60	58	68	66	51	48	62	43	42	25	27	32	40	(25.0%増)

増加する救急患者への対応、三次救急以外の患者を診察する治療スペースを確保するため、令和2年3月中の完成に向け、11月から高度救命救急センターの改修に着手している。

救急車搬送人数のうち3次救急は、前年同期と比べて1.9%増の584人、また、1次救急他から3次救急の合計は、6.6%減の2,832人となっている。

救急車搬送人数 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
一次救急	1,827	2,013	2,082	2,376	2,556	2,882	2,297	3,170	3,170	1,285	1,315	1,283	1,444	1,483	1,273	(14.1%減)
二次救急	1,305	1,415	1,577	1,678	1,807	1,984	2,568	1,808	1,867	870	947	992	872	976	975	(0.01%減)
三次救急	1,003	1,012	1,094	1,348	1,194	982	1,235	1,178	1,109	567	482	600	576	573	584	(1.9%増)
計	4,135	4,440	4,753	5,402	5,557	5,848	6,100	6,156	6,164	2,722	2,744	2,875	2,892	3,032	2,832	(6.6%減)

※ 一次救急は、一次救急、二次救急当番日以外に搬送された二次救急患者及び二次救急当番日  
甲府・中巨摩地区以外から搬送された二次救急患者

- 救急患者は、整形外科の対象患者が多いため、整形外科の医師がローテーションで、常時2人の救急応援体制をとっている。
- ドクターヘリについては、消防本部などの関係者で3か月に1度、症例検討会を開催しており、実際の事案をもとに、適切な運用について検討を行っている。上期は7月、9月に開催しており、運航開始から通算で29回開催している。
- 上期のドクターヘリの現場から医療機関への搬送時間は平均11分（前年度と同じ）、出動件数は、前年同期と比べて8.3%減の297件となっている。
- ドクターヘリの効率的な運航を図るため、県が当院内に整備を進めていた給油基地が平成30年1月に完成し、給油時間の短縮が図られている。
- ドクターカーの出動件数は、前年同期と比べて12.7%減の234件となっている。

出動件数 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
ドクターヘリ	—	—	382	502	420	430	493	539	581	236	220	287	282	324	297	(8.3%減)
ドクターカー	40	119	268	695	635	474	656	575	579	318	227	311	282	268	234	(12.7%減)
計	40	119	650	1,197	1,055	904	1,149	1,114	1,160	554	447	598	564	592	531	(10.3%減)

- 山梨県、神奈川県及び静岡県とのドクターヘリの広域連携を継続して実施している。上期の山梨県から他県への連携は6件、他県から山梨県への連携の実績はなかった。

ドクターヘリの3県広域連携の実績(平成26年8月から運航を開始) (単位:件)

	H26	H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
山梨県→他県	4	1	8	5	7	1	6	1	1	6	(500.0%増)
他県→山梨県	7	8	3	2	0	5	1	2	1	0	(増減なし)

- 甲府地区の初期救急における深夜帯診療が中止されたため、平成28年度から二次救急当番日には、初期救急の患者を緊急避難的に受け入れている。さらに、一部の病院の受入に支障が出ているため、平成30年4月から当院ではこれまで以上に多くの当番日を設け、患者を受け入れている。

二次救急病院別患者数 (単位:人、%)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
中央病院	3,098	3,181	3,422	3,354	3,698	4,000	4,803	4,401	4,158	4,361	1,927	2,400	2,165	2,043	2,213	2,248	(1.6%増)
その他	13,020	11,990	11,976	12,529	12,799	12,965	11,966	11,111	12,121	11,732	—	—	—	—	—	—	
合計	16,118	15,171	15,398	15,883	16,497	16,965	16,769	15,512	16,279	16,093	—	—	—	—	—	—	
中央病院割合	19.2%	21.0%	22.2%	21.1%	22.4%	23.6%	28.6%	28.4%	25.5%	27.1%	—	—	—	—	—	—	

- 総合診療科・感染症科では、地域の医療機関との連携を緊密にとりながら、極めて専門性の高い医療行為を行っており、上期の延べ入院患者数は、54.1%減の1,791人となっている。また、研修医、専修医の育成、山梨大学5年生の受け入れを行い、幅広く地域医療を担っていける人材の育成に寄与している。

総合診療科の状況 (単位:人)

	H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
紹介患者数	296	410	524	533	161	179	320	403	266	(34.0%減)
延べ入院患者数	2,794	5,818	7,312	6,747	1,055	2,688	3,797	3,902	1,791	(54.1%減)
延べ外来患者数	3,289	4,258	6,156	6,522	1,596	1,970	2,749	3,526	1,751	(50.3%減)
初診患者数	1,055	996	1,383	1,489	580	453	551	857	544	(36.5%減)
再診患者数	2,234	3,262	4,773	5,033	1,016	1,517	2,198	2,669	1,419	(46.8%減)
うち救急車患者数	71	243	586	944	48	90	120	328	68	(79.2%減)

- 総合診療科・感染症科に、平成28年10月1日から、県内では初となる「渡航・ワクチン外来」を開設した。この外来では、渡航にかかわる健康問題、ワクチンなどの相談、接種を自費診療にて行っている。A型肝炎など20種類のワクチン接種だけでなく、マラリア予防薬、旅行者下痢症対策、高山病対策の渡航用薬剤の処方を行うこととし、上期の受診者は延べ142人となっている。

中期計画

イ 総合周産期母子医療

県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、地域の分娩取扱医療機関との連携及び診療体制の整備・充実を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的、専門的な医療を提供する。

年度計画

イ 総合周産期母子医療

地域の分娩取扱医療機関との連携を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的、専門的な医療を提供する。また、胎児超音波スクリーニング検査などにより、胎児の疾患の早期発見に努めるとともに、分娩までの継続的なサポートを行う。

令和元年度上半期 業務実施状況

山梨大学医学部附属病院などと役割分担し、県内全てのハイリスクの妊婦等を受け入れ、専門的な医療を提供した。特に産褥以外の母体、新生児救急搬送は、当院で振り分けを行うことにより、地域の分娩取扱機関との連携を図りながら総合的・専門的な医療を提供している。

中病への救急搬送依頼実績 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
母体	129	118	105	121	111	108	92	97	144	62	52	40	49	58	50	(13.8%減)
中病受入	112	100	85	91	86	86	73	73	90	48	41	33	36	46	45	(2.8%減)
他院受入	17	18	20	30	25	22	19	24	54	14	11	7	13	12	5	(58.3%減)
新生児	85	75	57	81	71	74	91	74	124	26	40	47	32	39	25	(35.9%減)
中病受入	60	44	17	24	17	34	42	27	72	6	21	28	12	17	11	(35.2%減)
他院受入	25	31	40	57	54	40	49	47	52	20	19	19	20	22	14	(36.3%減)

新生児(1,500g以下)の受入状況 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
新生児(1,500g以下)	(93.7%)	(94.4%)	(94.9%)	(89.5%)	(83.6%)	(91.7%)	(90.1%)	(95.0%)	(93.0%)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(増減なし)
中病入院件数	59	51	56	51	56	44	38	38	40	28	14	12	17	18	18	(増減なし)
県内全体	63	54	59	57	67	48	42	40	43	-	-	-	-	-	-	(増減なし)

NICUでは、平成25年度からNICU入院児退院支援コーディネーター1人を配置し、退院支援を行っている。また、平成30年度から正規職員を配置し、支援の充実を図っている。

NICU入院児退院支援件数 (単位:件)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
支援件数	145	148	199	199	174	178	68	110	90	84	86	82	(4.7%減)

胎児超音波スクリーニング検査などにより、胎児の疾患の早期発見に努めるとともに、分娩までの継続的なサポートを実施している。検査の実施件数は前年同期と比べて34.6%増の1,023件と大幅に増加している。

超音波スクリーニング検査等の状況 (単位:人)

	H28	H29	H30	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
妊娠初期胎児超音波スクリーニング検査	39	6	15	33	2	8	4	(50.0%減)
妊娠中期胎児超音波スクリーニング検査	907	1442	1545	383	679	719	972	(35.2%増)
非侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)	42	64	75	13	32	33	47	(42.4%増)
マイクロアレイ検査	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)
計	4135	1512	1635	429	713	760	1023	(34.6%増)

入院環境を改善するため、MFICUの移転、個室化及び陣痛から分娩、産後の回復に至るまで、同じ部屋で過ごせるLDR出産を行える分娩室を整備している。

MFICUの延べ入院患者数は、前年同期と比べて7.6%増の860人となっている。また、NICUの延べ入院患者数は、12.2%減の1,619人となっている。

MFICU、NICUの延べ入院患者数 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
MFICU	103	121	120	155	113	320	496	1,554	1,562	58	103	170	838	799	860	(7.6%増)
NICU	4,066	3,859	4,196	4,048	4,169	4,221	3,962	3,841	3,783	2,123	2,095	1,943	1,934	1,843	1,619	(12.2%減)

分娩取扱件数は、前年同期と比べて4.1%増の378件となっている。

分娩取扱件数 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
分娩取扱件数	676	698	609	697	611	699	751	704	735	308	314	361	362	363	378	(4.1%増)

産後のうつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、甲府市ほか3市町から依頼のあった「産婦検診」を平成29年7月から実施している。また、平成30年度からは県内全市町村に対象を拡大し実施している。産婦検診件数は、前年同期と比べて7.1%増の601件となっている。

産婦検診実績 (単位:件)

	H29	H30	H30上期	R1上期	
産婦検診実績	485	1,146	561	601	(7.1%増)

※H29年7月より開始。H30年4月より県内全市町村で実施(H29年度は甲府市、甲斐市、中央紙、昭和町のみ実施)

中期計画

ウ がん医療

専門的ながん医療の提供、地域との連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援・情報提供などのがん診療連携拠点病院としての機能を拡充するとともに、院内のより緊密な連携体制を確立する中で、チーム医療を推進するなど、がんの包括的診療体制を充実し、がん医療の質の向上に努める。

(ア) がん治療の充実

手術、化学療法及び放射線療法を効果的に組み合わせ集学的治療の推進やがん相談など治療に伴う精神的ケアの支援により、がん治療の充実を図る。

(イ) 緩和ケア診療の充実

身体症状及び精神症状の緩和に携わる医師、専門の看護師などで構成される緩和ケアチームを中心に緩和ケア診療を充実する。

(ロ) キャンサーボードの充実

がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。

(ハ) ゲノム解析の推進

ゲノム解析センターにおいて、遺伝子情報の解析を行い、科学的根拠に基づいた適切な薬剤投与方法や診断法を確立し、患者の個人に合わせた次世代型のがん医療創出に向けて、臨床と研究の一体的な取組を推進する。

(ニ) 遺伝カウンセリングの推進

乳がんや卵巣がん等遺伝子の関与が疑われるがんの患者等に対してカウンセリングを実施し、得られた結果に基づき適切な治療を行う。

年度計画

ウ がん医療

(ア) がん治療の充実

手術、化学療法及び放射線療法を効果的に組み合わせ集学的治療の推進やがん相談など治療に伴う精神的ケアの支援により、がん治療の充実を図る。  
がんセミナーや市民公開講座を開催するなど、県民に向けた情報提供等に取り組む。  
がんセミナーや市民公開講座を開催するなど、県民に向けた情報提供等に取り組む。

(イ) 緩和ケア診療の充実

身体症状及び精神症状の緩和に携わる医師、専門の看護師などで構成される緩和ケアチームを中心に緩和ケア診療を充実する。

(ロ) キャンサーボードの充実

がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。

(ハ) ゲノム解析の推進

ゲノム解析センターにおいて、遺伝子情報の解析を行い、科学的根拠に基づいた適切な薬剤投与方法や診断法を確立し、患者の個人に合わせた次世代型のがん医療創出に向けて、臨床と研究の一体的な取組を推進する。  
また、中央病院では、平成31年2月に東京大学医学部附属病院のがんゲノム医療連携病院として先進医療B「遺伝子パネル検査」の実施医療機関に指定されたため、引き続き、東京大学との連携に努める。さらに、平成31年度から指定がはじまる見込みの「がんゲノム医療拠点病院」の指定を目指し、最適な治療を提供できるよう、引き続きがんゲノム医療の推進に努める。

(ニ) 遺伝カウンセリングの推進

乳がんや卵巣がん等遺伝子の関与が疑われるがんの患者等に対してカウンセリングを実施し、得られた結果に基づき適切な治療を行う。

令和元年度上半期 業務実施状況

平成29年5月からから遺伝子外来を開設し、乳がん・卵巣がんの領域において、将来のがん発症リスクの高い患者の判定を行い、カウンセリング検診の回数を増やすことの指導などを行っている。

遺伝子外来において、乳がん・卵巣がんの領域で、将来のがん発生リスクの高い患者のがん関連遺伝学的検査を上期は3件実施した。

遺伝カウンセリングを推進し、得られた結果に基づき適切な治療を行っている。ゲノム解析検査件数は、前年同期と比べて151.1%増の1,577件と著しく増加している。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
検査件数	337	313	966	1,152	1,198	1,983	177	542	566	739	628	1,577 (151.1%増)

遺伝カウンセリングを平成25年度から実施しており、前年同期と比べ23.1%減の10件となっている。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
カウンセリング	2	3	9	27	26	26	1	5	2	20	13	10 (23.1%減)

肺がん・呼吸器病センターにおいて、肺がんなどの呼吸器疾患に対し内科系と外科系が連携して高度で専門的な医療を提供している。

平成31年2月に東京大学医学部附属病院のがんゲノム医療連携病院として先進医療B「遺伝子パネル検査」の実施医療機関に指定された。また、同年6月に「遺伝子パネル検査」が保険収載されたため、中央病院でも準備を進め、11月から「遺伝子パネル検査」を開始することとなった。

中央病院の新規入院患者数は、前年同期と比べて3.4%減の7,081人、うち新規入院がん患者数は、9.1%減の1,649人となっている。

(暦年)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
A 年間新入院患者数	13,497	13,714	13,733	13,644	13,160	13,698	14,444	14,535	14,472	6,388	6,635	7,123	7,180	7,328	7,081 (3.4%減)
B うち年間新入院がん患者数	4,375	4,246	3,915	3,612	3,491	3,659	4,006	3,788	3,133	1,645	1,795	1,973	2,114	1,814	1,649 (9.1%減)

がん化学療法患者数は、前年同期と比べて14.2%増の6,956人となっている。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
ATCC	3,287	4,796	4,726	5,006	5,674	6,857	8,303	9,271	9,478	2,550	3,381	3,891	4,737	4,664	5,397 (15.7%増)
入院	1,898	2,594	2,725	2,853	2,801	2,924	3,300	3,220	2,972	1,369	1,370	1,678	1,724	1,429	1,559 (9.1%増)
合計	5,185	7,390	7,451	7,859	8,475	9,781	11,603	12,491	12,450	3,919	4,751	5,569	6,461	6,093	6,956 (14.2%増)

※ATCC: 通院加療がんセンター

放射線治療の患者数は、前年同期と比べて、16.6%増の4,815人となっている。また、患者の放射線被ばくによる副作用の軽減及び治療効果を高めるため、多方向からの照射を積極的に行っているが、治療門数は、前年同期と比べて11.6%減の14,955門となっている。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
患者数(人)	11,511	10,809	11,397	9,290	10,347	8,651	9,303	8,686	8,793	5,018	3,833	4,671	4,159	4,128	4,815 (16.6%増)
治療門数(門)	27,464	24,910	29,440	22,669	26,490	24,953	35,457	34,556	34,926	12,296	10,394	17,073	16,439	16,914	14,955 (11.6%減)

近年がん治療の新薬として注目されている、免疫チェックポイント阻害剤について、治療対象の拡大に応じた適切な投与を進めている。

	H26	H27	H28	H29	H30	H30上期	R1上期
オプジーボ点注100mg	7	37	268	596	596	377	—
オプジーボ点注20mg	14	77	583	984	984	711	—
オプジーボ点注240mg	—	—	—	—	119	—	227
キイトルーダ点注100mg	—	—	2	282	282	238	233
テセントリク点注1200mg	—	—	—	—	45	15	45
イミフンジ点注120mg	—	—	—	—	13	—	55
イミフンジ点注500mg	—	—	—	—	14	—	22
ヤーボイ点注50mg	—	—	6	0	0	6	3

- 高度化する手術環境に対応するため、また、緊急手術など増加する手術ニーズに対応するため、平成31年1月から手術室の看護職員を増員し、看護体制をオンコール制から二交代制に変更した。

手術の状況 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
全麻	2,773	2,628	2,696	2,485	2,710	2,755	3,135	3,095	3,191	1,359	1,348	1,517	1,547	1,626	1,642
局麻等	3,164	3,381	3,389	3,698	3,467	3,739	4,061	4,034	4,059	1,757	1,811	1,913	1,975	1,998	2,068
計	5,937	6,009	6,085	6,183	6,177	6,494	7,196	7,129	7,250	3,116	3,159	3,430	3,522	3,624	3,710

※全麻:全麻のみ、全麻+硬麻、全麻+脊麻の合計、局麻等:脊麻、局麻、静麻、麻酔なしの合計

- 内視鏡下手術は、低侵襲に手術を施行でき、入院期間を短縮できること、また整容性に優れていることなど様々なメリットがあるため、積極的に実施しており、前年同期と比べて9.1%減の479件となっている。

内視鏡下手術の状況 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
外科(肺は除く)	51	39	110	129	123	129	205	261	315	54	60	95	122	176	174
肺・呼吸器外科	26	32	44	51	114	177	249	201	217	48	82	122	104	103	110
婦人科	80	83	47	43	99	202	246	264	258	34	100	121	153	165	121
泌尿器科	0	0	0	0	6	11	66	85	115	1	4	24	36	54	42
小児外科	4	4	0	0	6	71	52	50	44	2	34	20	29	29	32
計	161	158	201	223	348	590	818	861	949	139	280	382	444	527	479

- 平成28年度から最新型の低侵襲手術支援ロボットであるda Vinci Xiを導入し、9月末日までに前立腺がん手術を95例、腎部分切除術を28例実施した。  
また、平成30年度の診療報酬改定において、胃がん、子宮体がんをはじめ多くのロボット手術が保険収載されたため、保険収載後速やかに対応できるよう指導医の招へいや物品の購入など対応している。

da Vinci Xi 部位別手術件数 (単位:件)

	H28	H29	H30	H30上期	R1上期
前立腺	23	39	58	33	24
腎	5	15	14	8	6
子宮(体癌)	8	2	26	11	13
子宮(体癌以外)	—	—	29	12	67
食道	—	—	2	9	3
胃	—	—	22	7	20
縦隔(悪性)	—	—	—	—	2
縦隔(良性)	—	—	—	—	2
計	36	56	151	80	137

- 緩和ケアチームが一般病棟の患者に対し、回診を行っている。また、緩和ケア部会では、緩和ケア病棟や緩和ケア外来等の運用や課題について検討を行うとともに、緩和ケア勉強会(上期に1回)を開催し、がん疼痛のコントロールやせん妄に対する看護について院内外の医療従事者への講義を行っている。

- がん患者の治療に伴う精神的ケアの充実に積極的に取り組んでいる。平成27年8月からは、相談体制の強化のため、がん看護外来を設置し、緩和ケア認定看護師等により、がん治療に対する専門的かつ継続的なカウンセリングを行っている。

緩和ケア外来患者、回診の状況 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
外来患者数	761	1,080	988	1,340	1,183	1,501	1,053	1,686	1,300	689	731	653	731	672	713
延べ回診患者数	—	232	277	360	638	962	1,284	1,166	2,040	332	423	618	563	678	743

がん相談支援センター相談実績 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
相談件数	1,337	1,237	2,834	4,531	5,123	4,969	4,041	4,121	3,386	2,444	2,691	1,964	2,191	2,188	1,112

ピアサポート相談延べ件数(試行:H26.11~H27.2/本格開始:H27.4~) (単位:件)

	H26	H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
相談件数	23	47	28	20	24	23	20	10	9	16

がん看護外来の状況(平成27年8月開設)

	H27	H28	H29	H30	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
新規患者数(人)	104	363	352	325	144	162	164	197
面談件数(件)	323	1,585	1,277	1,502	506	668	754	502

- 平成28年7月に甲府公共職業安定所と協定書を締結し、がん等の疾病で長期にわたり治療が必要となる患者に対し、治療と両立できる求人の開拓や就職後の職場定着の支援を行う就職支援ナビゲーターによる出張相談事業を、当院のがんセンターで実施している。9月末日までに2名の面談を行ったが、就職が実現したケースはなかった。

- がん医療の啓発活動として、県民向けのがんセミナーを開催している。

がんセミナー等の開催状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
がんセミナー	開催数	6回	8回	6回	5回	5回	5回	4回	3回	3回	3回	3回	2回	1回	0回
	参加者	574人	614人	407人	220人	396人	226人	259人	286人	187人	69人	144人	141人	123人	55人
シンポジウム	参加者	—	—	407人	250人	204人	160人	238人	—	—	—	—	—	—	—



中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>院内外の医療従事者を対象にしたがんカンサ―ボードを開催し、がん医療の質の向上に努めている。上期は16回実施し、前年同期と比べて6.7%増となっている。 また、平成25年度からは、領域別のがんカンサ―ボードを開催するだけでなく、包括的に最適な医療を検討する場として、総合がんカンサ―ボードを開催しており、上期は5回開催し、累計で76回となった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="1492 359 2840 428"> <thead> <tr> <th>がんカンサ―ボード実績</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>42</td> <td>32</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>(6.7%増)</td> </tr> </tbody> </table>	がんカンサ―ボード実績	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		実施回数	42	32	23	23	31	27	31	29	24	15	12	16	17	15	16	(6.7%増)																																																																				
がんカンサ―ボード実績	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
実施回数	42	32	23	23	31	27	31	29	24	15	12	16	17	15	16	(6.7%増)																																																																																								
<p><b>エ 難病(特定疾患)医療</b> 専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら、最適な医療の提供を行う。</p>	<p><b>エ 難病(特定疾患)医療</b> 専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら、最適な医療の提供を行う。 指定難病の疾病数が増加しているため、患者に適切な医療が提供できるよう、臨床調査個人票の作成を適切に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病医療拠点病院として、山梨大学病院と役割分担を行う中で、神経難病を除く特定疾患医療の患者を受け入れ、適切な医療を提供している。</li> <li>新規の臨床調査個人票作成件数は、前年同期と比べて、6.4%減の103件となっている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:件)</p> <table border="1" data-bbox="1492 678 2840 842"> <thead> <tr> <th>臨床調査個人票の状況</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床調査個人票作成件数(新規)</td> <td>97</td> <td>107</td> <td>101</td> <td>105</td> <td>96</td> <td>73</td> <td>140</td> <td>205</td> <td>199</td> <td>69</td> <td>45</td> <td>91</td> <td>76</td> <td>110</td> <td>103</td> <td>(6.4%減)</td> </tr> <tr> <td>臨床調査個人票作成件数(更新)</td> <td>617</td> <td>651</td> <td>581</td> <td>607</td> <td>643</td> <td>652</td> <td>796</td> <td>783</td> <td>765</td> <td>579</td> <td>646</td> <td>773</td> <td>826</td> <td>748</td> <td>803</td> <td>(21.1%増)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>714</td> <td>758</td> <td>682</td> <td>712</td> <td>739</td> <td>725</td> <td>936</td> <td>988</td> <td>964</td> <td>648</td> <td>691</td> <td>864</td> <td>902</td> <td>858</td> <td>906</td> <td>(5.6%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注:「臨床調査個人票」 難病患者の医療費助成制度の申請に必要な医師の診断書</p>	臨床調査個人票の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		臨床調査個人票作成件数(新規)	97	107	101	105	96	73	140	205	199	69	45	91	76	110	103	(6.4%減)	臨床調査個人票作成件数(更新)	617	651	581	607	643	652	796	783	765	579	646	773	826	748	803	(21.1%増)	合計	714	758	682	712	739	725	936	988	964	648	691	864	902	858	906	(5.6%増)																																		
臨床調査個人票の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
臨床調査個人票作成件数(新規)	97	107	101	105	96	73	140	205	199	69	45	91	76	110	103	(6.4%減)																																																																																								
臨床調査個人票作成件数(更新)	617	651	581	607	643	652	796	783	765	579	646	773	826	748	803	(21.1%増)																																																																																								
合計	714	758	682	712	739	725	936	988	964	648	691	864	902	858	906	(5.6%増)																																																																																								
<p><b>オ エイズ医療</b> 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、臨床心理士によるカウンセリングを実施するなど、エイズ治療拠点病院としての機能を発揮する。</p>	<p><b>オ エイズ医療</b> 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、患者の精神的負担をケアするため、臨床心理士によるカウンセリングを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師、看護師による治療、薬剤師による服薬指導、臨床心理士によるカウンセリングなど、多職種による専門的な医療を提供している。</li> <li>当院でHIV感染を確認した患者数は、前年同期と比べて、4.8%増の132人となっている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="1492 1150 2840 1220"> <thead> <tr> <th>エイズ患者の状況</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26.9末日</th> <th>H27.9末日</th> <th>H28.9末日</th> <th>H29.9末日</th> <th>H30.9末日</th> <th>R1.9末日</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>72</td> <td>82</td> <td>87</td> <td>89</td> <td>94</td> <td>103</td> <td>112</td> <td>121</td> <td>126</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>126</td> <td>132</td> <td>(4.8%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※当院でHIV感染を確認した延べ患者数(紹介を含む。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者からの要望に応じ、医師の判断に基づいて、臨床心理士によるカウンセリングを6回実施した。また、エイズ患者に対するチーム医療の推進を図るため、院外の臨床心理士を含めたHIV部会を4回開催し、エイズ患者等の症例検討や診療方針等の決定している。</li> <li>訪問看護師、訪問介護職員等を対象としたエイズ研修会を開催し、HIV・エイズに関する講義、感染症の予防策の実技等の研修を行っている。</li> <li>平成22年度からの累計で、臨床心理士によるカウンセリングは97回、HIV部会は96回、エイズ研修会は28回実施している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="1492 1566 2840 1671"> <thead> <tr> <th>臨床心理士によるカウンセリング等の状況</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カウンセリング</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>22</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>HIV部会</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>エイズ研修会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>(1回増)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護を行う医療機関、訪問看護事業所、訪問介護事業所及び居宅介護事業所等を支援するため、支援チームを派遣する体制を整えるとともに、平成28年8月からエイズ予防財団が行っている「HIV支援チーム派遣事業」を受託し、支援チーム派遣事業設置中核拠点病院となっている。 上期は、HIVの正しい知識と理解を伝えるため、県内の介護施設や歯科医院等に当院の感染症専門医師を派遣している。</li> </ul>	エイズ患者の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日		患者数	72	82	87	89	94	103	112	121	126	90	100	111	119	126	132	(4.8%増)	臨床心理士によるカウンセリング等の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		カウンセリング	3	3	8	4	22	11	14	13	13	11	5	7	7	6	6	(増減なし)	HIV部会	10	10	11	9	10	10	11	12	9	5	5	6	6	4	4	(増減なし)	エイズ研修会	3	3	2	5	3	1	2	5	3	0	0	0	0	0	1	(1回増)
エイズ患者の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日																																																																																									
患者数	72	82	87	89	94	103	112	121	126	90	100	111	119	126	132	(4.8%増)																																																																																								
臨床心理士によるカウンセリング等の状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
カウンセリング	3	3	8	4	22	11	14	13	13	11	5	7	7	6	6	(増減なし)																																																																																								
HIV部会	10	10	11	9	10	10	11	12	9	5	5	6	6	4	4	(増減なし)																																																																																								
エイズ研修会	3	3	2	5	3	1	2	5	3	0	0	0	0	0	1	(1回増)																																																																																								

中期計画

年度計画

令和元年度上半期 業務実施状況

カ 感染症医療

一類感染症（エボラ出血熱など7疾患）患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。

また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や、重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。

カ 感染症医療

一類感染症（エボラ出血熱など7疾患）患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。

また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や、重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。

- 総合診療科・感染症科の医師及び感染対策室に感染症専従看護師を配置し、院内の感染症対策の強化を図った。また、令和元年度から、感染対策室に専従の看護師を2名増員し、感染対策の更なる強化を図っている。
- 一類感染症の患者を受け入れられる感染症病床2床、結核病床16床を確保し、受け入れ体制を整えている。上期の結核病床の入院患者数は、前年同期と比べて46.7%増の22人であり、延べ入院患者数は、21.4%増の1,207人となっている。

結核病床入院患者の状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:人)
新規入院患者数	56	43	44	24	36	27	27	33	25	23	11	14	19	15	22	(46.7%増)
年間延べ入院患者数	3,078	2,414	2,818	1,655	2,184	1,230	1,394	1,724	1,724	1,349	686	706	1,077	994	1,207	(21.4%増)

- 感染防止対策地域連携加算の算定要件となっている相互評価について、これまで県内の病院と実施していたが、平成30年度から県外の感染対策の先進病院等とも実施することとしている。令和元年度上期は富山県立中央病院及び市立甲府病院と相互評価を実施した。

- 水痘、汎発性帯状疱疹などの空気感染対策が必要な患者に対して、陰圧個室を使った入院治療を行った。また、陰圧個室の入院患者数は、前年同期と比べて47.1%減の9人となっている。

陰圧個室治療患者の状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:人)
患者数	5	4	5	8	11	13	7	13	15	7	7	10	13	17	9	(47.1%減)

- エボラ出血熱患者発生時対応に備え、必要な器材の検討を進めている。また、必要物品の準備を行い、個人防護具着脱訓練を7月9日に実施した。

- 第1種感染症指定医療機関として、専門医及び感染症専従看護師により、感染症発生時の迅速な対応と感染症医療の充実、強化を図っている。  
専門医による感染症診断を行うための血液培養などの正しい検査の方法や適正な抗生物質の使用などの研修会を実施するとともに、AMS (Antimicrobial stewardship [抗菌薬適正使用]) による感染抑制、感染症診療に取り組んでいる。  
抗生物質（カルバペネム）の上期の投与患者数は、前年同期と比べて4.7%減少し、122人となっている。

抗生物質(カルバペネム)の使用状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:人)
投与患者数	959	933	865	784	773	412	309	269	243	437	229	158	124	128	122	(4.7%減)

- 中央病院では、1種感染症疑似症を受け入れ、遺伝子検査を待つ3日間の体制を整備するために関連機器、備品を整備しているが、実際に機器の設置及び患者対応期間の部屋に準備、使用について、マニュアルどおり行動できるか検証するため、令和元年5月に感染管理委員会が中心となって訓練を実施した。



中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																								
<p>②県立北病院 精神科救急・急性期医療や通院医療などの充実を図るとともに、心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院・通院医療機関としての役割を果たす。</p>	<p>②県立北病院 増加する救急患者や児童思春期患者に対応するため、医療体制の充実を図り、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的で一貫した医療を提供する。</p>																																																																																									
<p>ア 精神科救急・急性期医療 本県における精神科救急医療体制の強化に対応するとともに、集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせて、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的で一貫した医療を提供することで早期退院を図り、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p>	<p>ア 精神科救急・急性期医療 本県における精神科救急医療体制の強化に対応するとともに、集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせて、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的で一貫した医療を提供することで早期退院を図り、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパー救急病棟2病棟への入院患者に対しては、集中した治療を実施している。延べ入院患者数は、前年同期と比べて、1.5%増の12,023人となっている。</li> <li>毎週、医師、看護師、ケースワーカー、デイケアに携わるコメディカルスタッフによるケース会議を開催し、患者の治療、退院促進、退院後のリハビリテーション等について、総合的で一貫した医療を提供している。</li> </ul> <p>救急病棟入院患者・平均在院日数の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ患者数(人)</td> <td>14,325</td> <td>13,958</td> <td>13,604</td> <td>17,131</td> <td>21,523</td> <td>23,122</td> <td>23,801</td> <td>23,818</td> <td>22,172</td> <td>10,730</td> <td>11,518</td> <td>12,683</td> <td>11,273</td> <td>11,850</td> <td>12,023 (1.5%増)</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>65.8</td> <td>64.6</td> <td>59.9</td> <td>47.1</td> <td>42.7</td> <td>50.8</td> <td>43.5</td> <td>47.8</td> <td>53</td> <td>41.4日</td> <td>48.1日</td> <td>43.0日</td> <td>45.3日</td> <td>56.4日</td> <td>49.0日 (7.4日減)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から本格的に県の精神科救急医療体制の24時間化に対応し、精神科救急受診相談センターの業務の一部を担うとともに、センターで救急医療が必要と判断された患者を常時対応型病院として受け入れる体制を構築している。精神科救急の受入患者数は前年同期と比べ123.5%増の38人(入院19人・外来19人)と大幅に増加している。</li> </ul> <p>精神科救急医療の受入状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>67</td> <td>69</td> <td>71</td> <td>76</td> <td>33</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>38 (123.5%増)</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>19 (72.7%増)</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>29</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>19 (216.7%増)</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	延べ患者数(人)	14,325	13,958	13,604	17,131	21,523	23,122	23,801	23,818	22,172	10,730	11,518	12,683	11,273	11,850	12,023 (1.5%増)	平均在院日数(日)	65.8	64.6	59.9	47.1	42.7	50.8	43.5	47.8	53	41.4日	48.1日	43.0日	45.3日	56.4日	49.0日 (7.4日減)		H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	受入件数	67	69	71	76	33	38	26	17	38 (123.5%増)	入院	38	48	54	55	21	26	17	11	19 (72.7%増)	外来	29	21	17	21	12	12	9	6	19 (216.7%増)
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																											
延べ患者数(人)	14,325	13,958	13,604	17,131	21,523	23,122	23,801	23,818	22,172	10,730	11,518	12,683	11,273	11,850	12,023 (1.5%増)																																																																											
平均在院日数(日)	65.8	64.6	59.9	47.1	42.7	50.8	43.5	47.8	53	41.4日	48.1日	43.0日	45.3日	56.4日	49.0日 (7.4日減)																																																																											
	H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																	
受入件数	67	69	71	76	33	38	26	17	38 (123.5%増)																																																																																	
入院	38	48	54	55	21	26	17	11	19 (72.7%増)																																																																																	
外来	29	21	17	21	12	12	9	6	19 (216.7%増)																																																																																	
<p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、県内唯一の児童思春期病棟を有する病院として、より高度で専門的な医療を関係機関と連携して提供する。</p>	<p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、県内唯一の児童思春期病棟を有する病院として、関係医療機関と連携して病態に応じた医療を行うなど、より高度で専門的な児童思春期医療を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内医療ネットワーク体制の中で唯一の児童・思春期病棟を持つ病院として、看護師配置を10:1へと手厚くし、専従のコメディカルを配置するなど、病棟の機能強化を行った。また、増加傾向にある児童・思春期患者に対応するため、児童思春期の初診時の診断及び治療を標準化し、児童思春期専門医による指導体制を確立することで、より高度で専門的な診療を実施している。</li> <li>児童思春期病棟20床への延べ入院患者数は、前年同期と比べて1.0%減の2,613人、外来患者数は2.1%減の2,283人となっている。</li> <li>こころの発達総合支援センターと連携を図り、児童思春期症例の患者を専門に診療するとともに、思春期精神科ショートケアを週3回実施しており、前年同期と比べて45.6%減の156人の参加者があった。</li> </ul> <p>児童思春期患者の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,607人</td> <td>2,960人</td> <td>3,133人</td> <td>4,193人</td> <td>4,067人</td> <td>4,843人</td> <td>4,716人</td> <td>4,993人</td> <td>5,812人</td> <td>1,870人</td> <td>2,021人</td> <td>2,688人</td> <td>2,581人</td> <td>2,640人</td> <td>2,613人 (1.0%減)</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>65.3日</td> <td>61.4日</td> <td>55.0日</td> <td>59.0日</td> <td>62.1日</td> <td>67.7日</td> <td>86.5日</td> <td>71.3日</td> <td>84.8日</td> <td>55.0日</td> <td>57.6日</td> <td>99.6日</td> <td>66.2日</td> <td>103.5日</td> <td>62.2日 (41.3日減)</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>2,424人</td> <td>2,660人</td> <td>2,536人</td> <td>3,031人</td> <td>3,178人</td> <td>3,619人</td> <td>4,019人</td> <td>4,614人</td> <td>4,674人</td> <td>1,505人</td> <td>1,744人</td> <td>1,983人</td> <td>2,222人</td> <td>2,332人</td> <td>2,283人 (2.1%減)</td> </tr> <tr> <td>ショート参加者数</td> <td>562人</td> <td>600人</td> <td>551人</td> <td>237人</td> <td>264人</td> <td>276人</td> <td>316人</td> <td>395人</td> <td>526人</td> <td>144人</td> <td>130人</td> <td>140人</td> <td>197人</td> <td>287人</td> <td>156人 (45.6%減)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院を要する児童思春期症例の患者の家族を対象に家族支援プログラムを導入することにより、患者と家族をサポートしている。平成29年度からは、通院患者家族に対しても家族支援プログラムの導入を開始した。令和元年度上半期は、入院患者家族59名、通院患者家族25名、計84名が受講した。</li> <li>児童思春期患者に対する通院治療の充実を図るため、児童思春期精神科専門管理加算の届出を行い、平成28年7月から算定を開始した。令和元年度上半期は延べ747人の患者が加算の対象となった。</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	入院患者数	3,607人	2,960人	3,133人	4,193人	4,067人	4,843人	4,716人	4,993人	5,812人	1,870人	2,021人	2,688人	2,581人	2,640人	2,613人 (1.0%減)	平均在院日数	65.3日	61.4日	55.0日	59.0日	62.1日	67.7日	86.5日	71.3日	84.8日	55.0日	57.6日	99.6日	66.2日	103.5日	62.2日 (41.3日減)	外来患者数	2,424人	2,660人	2,536人	3,031人	3,178人	3,619人	4,019人	4,614人	4,674人	1,505人	1,744人	1,983人	2,222人	2,332人	2,283人 (2.1%減)	ショート参加者数	562人	600人	551人	237人	264人	276人	316人	395人	526人	144人	130人	140人	197人	287人	156人 (45.6%減)								
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																											
入院患者数	3,607人	2,960人	3,133人	4,193人	4,067人	4,843人	4,716人	4,993人	5,812人	1,870人	2,021人	2,688人	2,581人	2,640人	2,613人 (1.0%減)																																																																											
平均在院日数	65.3日	61.4日	55.0日	59.0日	62.1日	67.7日	86.5日	71.3日	84.8日	55.0日	57.6日	99.6日	66.2日	103.5日	62.2日 (41.3日減)																																																																											
外来患者数	2,424人	2,660人	2,536人	3,031人	3,178人	3,619人	4,019人	4,614人	4,674人	1,505人	1,744人	1,983人	2,222人	2,332人	2,283人 (2.1%減)																																																																											
ショート参加者数	562人	600人	551人	237人	264人	276人	316人	395人	526人	144人	130人	140人	197人	287人	156人 (45.6%減)																																																																											

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																							
<p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関として最適な医療を提供し、対象者に対して、指定入院から指定通院に向かう一貫した治療体系の中で適切な治療を提供し、社会復帰の促進を図る。</p>	<p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 多職種治療チームによる充実した医療を提供し、対象者の社会復帰を促進するとともに、社会復帰した対象者の通院治療について充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院対象者に対し、手厚い医療を提供し退院と社会復帰を進めている。</li> <li>通院対象者に対しては、多職種治療チーム（MDT）による治療体制を継続する中で、デイケアや訪問看護も実施し、多くの通院患者を支える体制を継続している。 (令和元年9月末日現在：指定入院3人、指定通院6人)</li> </ul> <p>入院対象者数の状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定入院者数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>新規者数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>転入者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>退院者数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>(皆減)</td> </tr> <tr> <td>転院者数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>通院対象者数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>(増減なし)</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		指定入院者数	3	5	5	5	4	4	5	3	3	5	5	5	5	3	3	(増減なし)	新規者数	3	5	2	1	2	2	2	0	3	0	2	1	0	0	0	(増減なし)	転入者数	0	0	0	3	2	0	2	1	0	2	0	1	1	0	0	(増減なし)	退院者数	0	2	1	5	4	2	3	3	3	1	1	1	1	2	0	(皆減)	転院者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)	通院対象者数	0	2	2	5	10	9	7	6	6	6	10	7	6	6	6	(増減なし)
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																										
指定入院者数	3	5	5	5	4	4	5	3	3	5	5	5	5	3	3	(増減なし)																																																																																																									
新規者数	3	5	2	1	2	2	2	0	3	0	2	1	0	0	0	(増減なし)																																																																																																									
転入者数	0	0	0	3	2	0	2	1	0	2	0	1	1	0	0	(増減なし)																																																																																																									
退院者数	0	2	1	5	4	2	3	3	3	1	1	1	1	2	0	(皆減)																																																																																																									
転院者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)																																																																																																									
通院対象者数	0	2	2	5	10	9	7	6	6	6	10	7	6	6	6	(増減なし)																																																																																																									
<p>エ 重度・慢性入院患者への医療 集中的な救急・急性期治療によっても早期の退院が困難な重症患者や長期在院重症患者に、さらに高度な薬物治療等や多職種治療チームによる治療体制を構築し、退院と社会復帰を目指す。</p>	<p>エ 重度・慢性入院患者への医療 重症患者や長期在院重症患者に対し、さらに高度な医療を提供するとともに、多職種治療チームによる治療体制の充実を図り、退院と社会復帰を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年以上入院を継続し、精神症状が重く、自傷他害のリスク、社会適応能力の重大な問題等のため退院が困難な重度・慢性入院患者23人に対し、症例に応じてクロザピンやm-ECTなどを行うとともに、院内多職種（必要時、地域関係者を含む）による治療体制を構築して治療に当たり、5人を退院させることができた。なお、北病院におけるクロザピンの治療は人口10万人あたり全国上位の登録患者数があるとともに、副作用モニタリングシステムを全国へ提案するなど、先進的な取り組みを実施している。</li> <li>重度・慢性入院患者の新たな発生を減少させるため、積極的にクロザピンやm-ECT治療を実施している。</li> <li>長期患者退院推進会議を毎月開催し、重症患者に対する退院と社会復帰を計画的に進めている。</li> </ul> <p>高度な精神科医療の状況 (単位:回・人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>m-ECT</td> <td>717</td> <td>697</td> <td>686</td> <td>530</td> <td>663</td> <td>657</td> <td>617</td> <td>650</td> <td>661</td> <td>321</td> <td>325</td> <td>312</td> <td>342</td> <td>329</td> <td>319</td> <td>(3.0%減)</td> </tr> <tr> <td>新規開始患者数</td> <td>87</td> <td>78</td> <td>71</td> <td>57</td> <td>63</td> <td>74</td> <td>67</td> <td>70</td> <td>76</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>28</td> <td>(30.0%減)</td> </tr> <tr> <td>クロザピン</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>53</td> <td>62</td> <td>75</td> <td>87</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>118</td> <td>77</td> <td>83</td> <td>84</td> <td>95</td> <td>107</td> <td>123</td> <td>(15.0%増)</td> </tr> <tr> <td>投与継続者数</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>43</td> <td>52</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>57</td> <td>68</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>52</td> <td>58</td> <td>64</td> <td>(10.3%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※m-ECT:修正型電気けいれん療法 クロザピン:治療抵抗性統合失調症の治療薬</p>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		m-ECT	717	697	686	530	663	657	617	650	661	321	325	312	342	329	319	(3.0%減)	新規開始患者数	87	78	71	57	63	74	67	70	76	35	39	37	39	40	28	(30.0%減)	クロザピン	14	23	53	62	75	87	95	102	118	77	83	84	95	107	123	(15.0%増)	投与継続者数	9	16	30	43	52	48	58	57	68	42	48	48	52	58	64	(10.3%増)																																		
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																										
m-ECT	717	697	686	530	663	657	617	650	661	321	325	312	342	329	319	(3.0%減)																																																																																																									
新規開始患者数	87	78	71	57	63	74	67	70	76	35	39	37	39	40	28	(30.0%減)																																																																																																									
クロザピン	14	23	53	62	75	87	95	102	118	77	83	84	95	107	123	(15.0%増)																																																																																																									
投与継続者数	9	16	30	43	52	48	58	57	68	42	48	48	52	58	64	(10.3%増)																																																																																																									
<p>オ 重症通院患者への医療 救急・急性期、重度・慢性患者への入院医療、指定入院医療などから退院し、地域で生活する重症患者に対して、関係機関と連携し、多職種治療チームによるデイケアなどの通院治療やアウトリーチ（訪問支援）などにより医療を提供する体制を強化し、地域社会への適応を促進する。</p>	<p>オ 重症通院患者への医療 地域で生活する重症通院患者の治療中断による重症化や問題行動の再発等を防ぐとともに、退院後も地域で生活する患者の拡大する医療ニーズに対応するため、平成31年4月に設置する訪問看護ステーションにおいて、患者に適応した医療を継続的に提供する。また、多様化・高度化したデイケアにおいては、患者の特性に合わせた高度な治療プログラムを提供し、地域社会への適応を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の中断、自傷・他害行為等のリスクが高く、入退院を繰り返してきた重症通院患者に対し、多職種治療チーム（MDT）による適切な医療の提供や地域での生活を支援するため、平成28年4月に重症通院患者支援推進会議を設置し、治療方針の決定、病状の経過観察等を行っている。</li> <li>平成28年7月に発生した津久井やまゆり園での殺傷事件を受け、措置入院患者の措置解除の決定等を行う場合には、当該推進会議において協議を行うこととした。また、平成30年4月の診療報酬改定で、措置入院者への入院中及び退院後半年間の通院時の対応について加算が算定できるようになり、患者の治療、援助全体を統括していく場として当該推進会議の重要性がより増加した。</li> <li>上期は登録患者27人に対し、訪問（12人）78回、デイケア（7人）138回を実施するとともに、7人には院内MDTチームを編成し、また8人には地域関係者を含むカンファレンスを行い、治療に当たった。</li> <li>平成31年4月には、退院後、地域で生活する重症通院患者の多様かつ増大する医療ニーズに対して継続的に支援を行うため、訪問看護ステーションを開設し、上半期には延べ1,409人への訪問を実施した。</li> </ul> <p>訪問看護実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3122</td> <td>2810</td> <td>1621</td> <td>1420</td> <td>1409</td> <td>(0.8%減)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>デイケアにおいては、患者の特性に合わせ、多様化・高度化した新たな治療プログラムによるサービスを開始した。上半期はデイケア利用終了者（40人）のうち、68%が就労、就学した。</li> </ul>	H29	H30	H29上期	H30上期	R1上期		3122	2810	1621	1420	1409	(0.8%減)																																																																																																											
H29	H30	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																					
3122	2810	1621	1420	1409	(0.8%減)																																																																																																																				

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 医療の提供  
 (2) 質の高い医療の提供  
 医師、看護師等（以下「医療従事者」という。）の専門的な知識の取得と技術の向上に努めるとともに、病院施設、医療機器等の整備を計画的に行い、質の高い医療を提供すること。

中期計画	年度計画
<p>(2) 質の高い医療の提供                      県立病院機構の有するあらゆる医療資源を活かし、各部門の密接な連携を図る中で、地方独立行政法人制度の特長である弾力的・効率的で透明性の高い運営を行い、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。</p> <p>①医療従事者の育成、確保及び定着                      高度で専門的な医療を提供するため、関係機関との連携を図り、人間的資質が優れ、診療能力が高い医師、看護師等（以下「医療従事者」という。）の育成、確保及び定着に努める。                      また、医師事務作業補助者及び看護補助者を拡充し、医療従事者の業務負担の軽減及び処遇の改善を図る。</p>	<p>(2) 質の高い医療の提供</p> <p>①医療従事者の育成、確保及び定着                      ・ 高度で専門的な医療を提供するため、関係機関との連携を図り、人間的資質が優れ、診療能力が高い医療従事者の育成、確保及び定着に努める。                      ・ 研修医向けの実践的講座の充実を図るとともに、医師の研修内容や育成方法について検討を進める。                      ・ 研修医向けの実践的講座の充実を図るとともに、医師の研修内容や育成方法について検討を進める。                      ・ 医学生を対象とした臨床研修プログラムの説明会を開催するとともに、病院説明会の実施等の広報活動を行い、臨床研修医の確保に努める。                      ・ 医師事務作業補助者及び看護補助者を拡充し、医療従事者の業務負担の軽減及び処遇の改善を図る。</p>

令和元年度上半期 業務実施状況

・ 総合診療・感染症医療に優れた医師 (H27)、ダヴィンチのエキスパート (H28)、肝胆膵疾患、特に肝臓がんの日本有数の治療歴を有する専門医、小児循環器疾患で、県内で多くの経験を積む専門医、循環器領域、殊に不整脈のカテーテル治療の技能を有する専門医 (いずれもH29)、ゲノム医療遂行のための医師 (H30)、大動脈ステントグラフト内挿術治療の技術を有する専門医 (H30、H31)、胃がんに対する腹腔鏡手術、ロボット手術の経験を積む専門医 (H31) を採用してきた。これらの専門的な知識を持った医師の卓越した技術により、質の高い医療を提供するとともに、若手医師の育成にも取り組んでいる。

・ 中央病院の精神科医療を充実強化するため、平成28年度から精神科医と精神保健福祉士を北病院から配置することで、精神科医師を2人体制とし、治療（精神科リエゾン）を行った。精神科医や精神保健福祉士など多職種による病棟回診の延べ患者数は上期は451人となった。また、平成30年度からは中央病院の精神科に認定看護師を配置し、「精神科リエゾンチーム加算」取得している。

・ 中央病院の医師1人の配置であった内科（リウマチ・膠原病科）を平成28年度から2人体制としている。

・ 最新情報を研修医と上級専門医が解説するカンファレンスであるMedical & Surgical Ground Rounds (MSGR) を、上期は10回実施し、累計で162回となった。毎回参加者は40人を超えている。

・ 平成28年度から、教育研修センターに臨床研修センター及び医療教育シミュレーションセンターを開設し、医師などの医療職の実技研修の充実を図っている。令和元年度は看護師を対象とした「BLS・ALS学習会」等の研修を実施している。

・ 医学生対象のウェブサイト等に募集案内を掲載し研修医・専修医募集の積極的な広報活動を展開している。

・ レジナビフェアへの出展等積極的な広報活動を展開するとともに、レイトスプリングキャンプ（2回、32人）、サマーキャンプ（1回、17人）を実施している。

・ 本県への医師の定着を促進するため、令和元年度初期臨床研修において、18人の定員で募集を行ったところ、令和2年度総合研修プログラムのマッチ率は前年度に引き続き100%となった。

初期臨床研修医のマッチ状況  
 総合研修プログラム (単位:人)

採用年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	
定員	12	12	16	16	16	18	18	18	16	17	18	(5.9%増)
マッチ者数	12	12	11	16	16	13	18	17	14	17	18	(5.9%減)
マッチ率	100.0%	100.0%	68.8%	100.0%	100.0%	72.2%	100.0%	94.4%	87.5%	100.0%	100.0%	(増減なし)

・ 平成27年度から、山梨大学医学部5年次生全員の臨床実習を受け入れている。令和元年度は、22グループ136人に対して2週間の実習を予定しており、上期に68人の実習が終了している。

・ 医療事務作業補助者については、採用を増やし医師等の医療従事者の業務負担軽減を図っている。令和元年9月末現在の人数は昨年度末に比べ4.0%増の52人となっている。

医療事務補助職員の状況 (単位:人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末	
職員数	19	22	31	39	46	50	52	(4.0%増)
DPC	0	0	0	20	18	16	16	
DC	-	-	-	-	-	26	26	
診療情報管理	16	13	15	16	25	6	8	
診療報酬	3	9	16	3	3	2	4	

中期計画

②7対1看護体制への柔軟な対応  
患者一人一人の症状に応じたきめ細かな看護を実施し、患者にとって良好な療養環境を確保するため、県立中央病院において、今後変革が予想される7対1看護体制への柔軟な対応を図る。

年度計画

②7対1看護体制への柔軟な対応  
・ 看護師採用試験の複数回実施や中途採用などにより、必要な看護師の確保を図るとともに、適切な人事管理や運用病床の運営、業務改善を行い、7対1看護体制を継続する。  
・ 看護職員の確保のため、次年度採用予定者に対して、看護師資格取得に向けた支援を行う。  
・ 新任の看護職員の離職を防止するとともに、同期との連帯感の向上を図るため宿泊研修を実施する。  
・ ベテランの看護職員を看護職員人材育成アドバイザーとして専任配置し、看護師養成機関へ直接訪問するなど、当院への就職を促す広報活動を積極的に展開するとともに、就職活動から新人看護師の期間を通じた様々な相談に親身に対応することで、看護職員の採用の拡大、離職の低減を図る。  
・ 7対1看護体制を継続させるため、入院基本料の算定要件である「重症度・医療・看護必要度」を適正に評価できる人材を育成する。  
・ 看護師の人材育成、教育を行うため、中央病院と北病院との連携の強化、相互研修の推進を図る。  
・ 平成30年度導入した看護師向けeラーニングシステムである「ビジュアルナーシングメソッド」をより有効的に活用するため、タブレット端末を試験的に導入する。

令和元年度上半期 業務実施状況

・ 看護師試験は年5回の実施（4回実施済）を予定しており、令和2年度採用予定者数は、10.0%減の81人となっている。また、正規職員の中途採用も実施している。

看護職員の採用状況 (単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
4月1日採用者	52	55	50	60	54	61	78	90	81 (10.0%減)

※R2はR1.10.31時点の採用予定者数

看護師(正規職員)の中途採用の状況 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末
7月		5	3	2	2	3	5	2	2	3
8月	2	3					1		1	
10月	2			5		2			1	1
11月					2		1			
12月				1						
1月		2	4							
計	4	10	7	8	4	5	7	2	4	4

・ 看護師の負担軽減、時間内就業の実現、パートナーシップ・ナーシング・システムの導入、夜勤専従看護職員の配置などの取り組みにより、7対1看護体制の継続に努めている。  
(※2人の看護師がパートナーを組んで複数の患者を受け持ち、お互いに補完・協力して看護業務を行う。)

・ 平成29年度から、人材確保対策担当を設置することとし、看護師養成機関との就職に関する窓口として役割を果たすと同時に、就職活動や新人看護師の様々な相談に親身に対応することで、看護職員の採用の拡大、離職の低減を図ることとした。

・ 新任看護職員の間関係の構築、連帯感の向上を図るため、5月に清里で1泊2日の宿泊研修を実施した。

・ 中央病院では、看護職員を対象にオンライン講義のネット配信により個人学習をすることができるeラーニング研修を平成26年度から本格的に導入しており、看護の質の向上に努めている。

・ 助産実践能力の向上及び相互の医療、助産の連携推進を図るため、県看護協会が作成した「助産師出向及び研修支援事業ガイドライン」に基づき、助産師の受入れを山梨市との間で行っている。

・ 2人の看護師がパートナーを組んで複数の患者を受け持ち、お互いに補完・協力して看護業務を行うパートナーシップ・ナーシング・システムを平成27年度から本格導入している。また、7対1看護体制を維持するため、夜間専従看護職員を配置している(概ね各病棟に1人、16病棟に配置)。

夜勤専従看護職員の状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
配置病棟数(配置病棟/7対1病棟)	14/14	13/13	12/13	12/13	12/13	8/13	13/13	12/13	11/13	12/13	7/13	7/13
延べ人数(月単位)	66	134	120	140	88	35	75	64	68	53	20	19 (5.0%減)

※H25年9月から実施。H26から6A休床。

・ 看護師の負担軽減、時間内就業の実現を目指し、正規職員の中途採用、パートナーシップ・ナーシング・システムの導入、夜勤専従看護職員の配置などの取り組みにより、時間外勤務時間の縮減に取り組んでいる。

看護師数及び時間外勤務の状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
看護師総数	528人	534人	530人	526人	529人	533人	533人	553人	581人	519人	525人	530人	550人	586人	620人 (5.8%増)
看護師月平均時間外勤務時間(時間)	6.3h	7.4h	9.5h	8.8h	7.9h	6.7h	7.7h	7.4h	8.4h	8.2h	6.8h	7.6h	7.2h	8.2h	9.5h (15.9%増)

※看護師総数は、年度は4月1日、上期は9月末日

・ 看護師の確保及び定着を図るため、他県の貸付制度を参考に、看護職員就職支度金貸与制度を導入している。用途については、救急・急性期医療を提供する中央病院近傍への転居費用などに限定し貸与している。

看護職員就職支度金貸与の状況

	H27	H28	H29	H30	R1
採用者数(人)	60	54	61	78	86 (10.3%増)
貸与人数(人)	22	15	19	6	5 (16.7%減)
金額(千円)	5,938	2,870	4,823	1,290	1,301 (0.9%増)

・ 理事長による県立大学の看護実習生を対象とした講話を実施した。県内でも、ゲノム解析、がん医療などの最先端の医療提供が行われていること、医者サイドから見たチーム医療による看護の重要性などを内容とし、県内及び機構に就職する動機づけになっている。平成30年度は3年生後期実習において4回実施している。

③医療の標準化と最適な医療の提供

治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するため、クリニカルパスを推進する。
また、診断群分類包括評価（DPC）から得られる詳細な診療情報を、診療科や疾患別のデータ分析、クリニカルパスの見直し、後発医薬品の採用推進などに積極的に活用する。

③医療の標準化と最適な医療の提供

- 最適な医療を提供するため、DPCから得られる多様な診療情報を活用し、随時、クリニカルパスの点検・見直しを行い、クリニカルパス使用率の向上を図る。
疾病統計により、医療の安全管理、質の向上を図り、病状に応じた適切な医療を提供していくため、診療情報管理士の配置の充実について検討を行う。
脳卒中患者に対する血管内治療などの急性期集中治療だけでなく、急性期リハビリテーションの導入に向け、調査、研究を行う。
中央病院精神科において、一般の身体医療の中で起こる様々な精神科疾患に対して、精神科医等が共同して治療を行う（精神科リエゾン）とともに、入院治療が必要な精神科疾患の患者の紹介など、北病院等との連携を強化する。
精神、身体疾患の合併症患者に対する適正な医療を提供するため、中央病院に精神科の患者が救急搬送された際、入院治療で精神科の治療が可能となる「精神科身体合併症病棟」を整備する（個室4床）。
リニアックを活用し、画像誘導放射線治療（IGRT）などの高精度放射線治療を積極的に進める。
最新のロボット手術システムを活用し、低侵襲で最適な医療を提供する。また、平成30年度の診療報酬改定において新たに保険収載された手術部位に速やかに対応できるよう取り組みを進める。
県民に質の高いがんゲノム医療を提供するため、がんゲノム医療拠点病院の指定に向けた体制を整備する。
ゲノム診療センターを設置し、家族性癌等の遺伝性変異の解明と診療の充実を図る（再掲）。
造血幹細胞移植を進めるとともに、増床し9床となった無菌室を有効に活用し、白血病等の無菌状態での薬物治療が必要な患者の受け入れを拡大する。
平成29年度に設置した、肝胆膵・消化器病センター及び循環器病センターにおいて、内科と外科が一体となった治療を実施する。
より充実した救命救急医療を提供するため、救命救急センターの区画を拡充し、三次救急患者だけでなく、二次救急患者の診療が可能となるよう整備していく。また、結核などの感染症隔離室を設置していく（再掲）。
中央病院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するため、平成31年2月に受審した公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の結果明らかとなった課題等の解消に向けた改善活動を推進し、病院運営体制の一層の強化充実と医療の質の向上を図る。
医師を含む多職種間における診療目標の明確化と的確な情報共有を図り、診療の効率化を推進するため、看護計画等の記録に用いる用語の標準化が実現できる「Health Care books」の導入に向けた準備を進める。
思春期に特有な精神疾患の治療について、県内唯一の児童思春期病棟を有する病院として、関係医療機関と連携して病態に応じた医療を行うなど、より高度で専門的な児童思春期医療を提供する（再掲）。

- DPCから得られる情報に基づき、当院と他のDPC参加病院の診療内容を比較し、各種医療資源（処置、検査、投薬、手術等）の投下状況を分析している。また、このDPCの分析データを活用してクリニカルパスを適宜見直ししており、入院日数の短縮や診療内容の改定等の検討を進めている。

- 令和元年度は、パス委員会にて承認チームを結成し、申請されたパスを多職種で点検してから承認する体制に変更した。また新規パスについては、申請者（医師・看護師）と委員会承認チームにてディスカッションを行い、多職種にてパスの標準化を検討した上で承認する運用とした。

- バリエーション（パスから外れる）率は、前年同期と比べて1.0ポイント減の9.9%となっている。

クリニカルパスの適用状況

Table with 16 columns (H22 to R1上期) and 6 rows (パス数(件), 見直し, 新設, パス適用件数(件), パス適用率(%), 平均在院日数(日)).

バリエーション率の状況

Table with 16 columns (H23 to R1上期) and 1 row (バリエーション率).

- 内視鏡下手術は、低侵襲に手術を施行でき、入院期間を短縮できること、また整容性に優れていることなど様々なメリットがあるため、積極的に実施しており、前年同期と比べて9.1%減の479件となっている。

内視鏡下手術の状況

Table with 16 columns (H22 to R1上期) and 6 rows (外科(肺は除く), 肺・呼吸器外科, 婦人科, 泌尿器科, 小児外科, 計).

- 平成27年4月から、呼吸器外科医が直接対応する24時間気胸ホットラインを開設するとともに、気胸の患者を365日24時間、呼吸器外科で受け入れ、診療する体制を整えている。また、平成28年4月からは、肺がんホットラインを開設している。

- 中央病院の精神科では、一般の身体医療の中で起こる様々な精神科疾患に対して、精神科医等が共同して治療（精神科リエゾン）を行っている。精神科医による病棟回診を7月から行っており、上期の延べ回診患者数は451人となっている。また、入院精神療法の加算件数は、前年同期と比べて、34.3%増の137件となっている。

入院精神療法の加算件数

Table with 16 columns (H22 to R1上期) and 1 row (加算件数).

- 急性骨髄性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫などの患者に対して、造血幹細胞移植を実施している。平成27年12月に、県内初の成人における半合致移植を実施した。これにより、HLAを完全に一致させなくても県内で移植を受けることが可能となった。また、平成28年4月7日に骨髄バンク認定移植施設・骨髄※HLA（ヒト白血球型抗原）とはヒトの主要組織適合遺伝子複合体のことであり、白血球の血液型と言えるものである。

造血幹細胞移植の状況

Table with 16 columns (H22 to R1上期) and 5 rows (自家末梢血, 同種末梢血, 同種臍帯血, 同種骨髄, 計).

- 不整脈治療において、薬物治療よりも長期の治療効果が得られることを目標に、積極的にアブレーション治療を行った。その中でも、特に、心房細動に対するアブレーション治療が増加した。

アブレーション治療症例数

Table with 11 columns (H22 to R1上期) and 2 rows (アブレーション, (うち心房細動)).

アブレーション…治療用のカテーテルで不整脈を起こす原因となっている異常な電気興奮の発生箇所を焼き切る治療法



中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院後も地域で生活する患者の拡大する医療ニーズに対応するため、平成31年4月に設置する訪問看護ステーションにおいて、患者に適した医療を継続的に提供する。また、多様化・高度化したデイケアにおいては、患者の特性に合わせた高度な治療プログラムを提供し、地域社会への適応を促進する。(再掲)。</li> <li>アルコール依存症への治療プログラムを継続するとともに、関連施設との連携を図りながら、薬物依存症、ギャンブル依存症、ゲーム障害等への治療プログラム開発に着手する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」の本審査を平成31年2月に受審し、令和元年7月に認定を受けた。</li> <li>血液培養で陽性となった検体から、細菌、薬剤耐性遺伝子の有無を迅速に同定し、抗菌薬の治療方針決定に役立つ全自動遺伝子解析装置「FilmArray」システムを全国に先駆けて導入した。上期は253件の検体の遺伝子を解析し、238件について細菌、薬剤耐性遺伝子の有無を同定した。</li> <li>中央病院の救命救急センターに入院した合併症患者を対象として、身体治療と精神科治療の円滑な対応を行うことで山梨県内の合併症患者医療に寄与するため、精神科病床設置し11月から運用を開始することとした。</li> </ul>																																																																																																																																																					
<p>④高度医療機器の計画的な更新・整備 各種高度医療機器を計画的に更新・整備するとともに、適切な維持管理を行う。</p>	<p>④高度医療機器の計画的な更新・整備 中期計画で定めた高額医療機器の整備にあたり、機能・性能等と整備に係る費用のバランスを考慮して機種を選定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院において、ISO15189取得するため導入から7年が経過している検査部生化学・免疫等検査機器を新たに整備するとともに、年々増加する血管修復の手術である大動脈ステントグラフトを実施するため、移動式X線透視診断装置(Cアーム)等を整備した。</li> <li>160万円以上の器械備品を購入する際は、金額、必要性、効果等を総合的に判断するため、器械備品管理委員会に諮り購入の是非について決定している。</li> </ul> <p>高度医療機器の更新・整備額 (単位:万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中央病院</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執行額</td> <td>51,300</td> <td>65,900</td> <td>80,800</td> <td>95,600</td> <td>36,800</td> <td>178,000</td> <td>65,200</td> <td>29,072</td> <td>37,026</td> <td>17,400</td> <td>99,000</td> <td>25,800</td> <td>11,405</td> <td>14,917</td> <td>34,134 (128.8%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>高度医療機器の整備の状況(主なもの) (単位:万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中央病院</th> <th>購入理由</th> <th>金額</th> <th>契約</th> <th>執行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査部生化学・免疫等検査機器一式</td> <td>更新</td> <td>17,708</td> <td>プロポ</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>移動式X線透視診断装置(Cアーム)等一式</td> <td>更新</td> <td>5,908</td> <td>プロポ</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>生体情報モニタリングシステム</td> <td>更新</td> <td>3,910</td> <td>一般</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>閉鎖式保育器</td> <td>更新</td> <td>2,745</td> <td>一般</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>ベッド</td> <td>更新</td> <td>2,482</td> <td>一般</td> <td>R1</td> </tr> </tbody> </table> <p>高度医療機器の整備の状況(主なもの) (単位:万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北病院</th> <th>購入理由</th> <th>金額</th> <th>契約</th> <th>執行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全自動錠剤散薬分包機</td> <td>更新</td> <td>1,590</td> <td>一般</td> <td>R1</td> </tr> </tbody> </table>	中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	執行額	51,300	65,900	80,800	95,600	36,800	178,000	65,200	29,072	37,026	17,400	99,000	25,800	11,405	14,917	34,134 (128.8%増)	中央病院	購入理由	金額	契約	執行	検査部生化学・免疫等検査機器一式	更新	17,708	プロポ	R1	移動式X線透視診断装置(Cアーム)等一式	更新	5,908	プロポ	R1	生体情報モニタリングシステム	更新	3,910	一般	R1	閉鎖式保育器	更新	2,745	一般	R1	ベッド	更新	2,482	一般	R1	北病院	購入理由	金額	契約	執行	全自動錠剤散薬分包機	更新	1,590	一般	R1																																																																													
中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																								
執行額	51,300	65,900	80,800	95,600	36,800	178,000	65,200	29,072	37,026	17,400	99,000	25,800	11,405	14,917	34,134 (128.8%増)																																																																																																																																								
中央病院	購入理由	金額	契約	執行																																																																																																																																																			
検査部生化学・免疫等検査機器一式	更新	17,708	プロポ	R1																																																																																																																																																			
移動式X線透視診断装置(Cアーム)等一式	更新	5,908	プロポ	R1																																																																																																																																																			
生体情報モニタリングシステム	更新	3,910	一般	R1																																																																																																																																																			
閉鎖式保育器	更新	2,745	一般	R1																																																																																																																																																			
ベッド	更新	2,482	一般	R1																																																																																																																																																			
北病院	購入理由	金額	契約	執行																																																																																																																																																			
全自動錠剤散薬分包機	更新	1,590	一般	R1																																																																																																																																																			
<p>⑤病院施設の適切な修理・改善 病院施設の修理・改善を計画的に行い、その機能の維持・強化を図る。</p>	<p>⑤病院施設の適切な修理・改善 病院施設の修理・改善を計画的に行い、その機能の維持・強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院施設の機能維持のため、点検、修理を計画的に実施するとともに、緊急な対応が必要となった場合には、診療に影響がないよう迅速に対応している。</li> </ul> <p>機能維持 (単位:万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中央病院</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕</td> <td>11,578</td> <td>9,452</td> <td>16,437</td> <td>15,879</td> <td>12,885</td> <td>17,870</td> <td>26,512</td> <td>18,891</td> <td>21,904</td> <td>2,886</td> <td>1,955</td> <td>2,063</td> <td>4,109</td> <td>5,145</td> <td>5,586 (8.6%増)</td> </tr> <tr> <td>点検</td> <td>40,690</td> <td>53,643</td> <td>49,626</td> <td>50,992</td> <td>58,408</td> <td>57,025</td> <td>67,106</td> <td>68,468</td> <td>77,607</td> <td>12,081</td> <td>13,002</td> <td>14,883</td> <td>12,611</td> <td>14,084</td> <td>13,390 (4.9%減)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>52,268</td> <td>63,095</td> <td>66,063</td> <td>66,871</td> <td>71,293</td> <td>74,895</td> <td>93,618</td> <td>87,359</td> <td>99,511</td> <td>14,967</td> <td>14,957</td> <td>16,946</td> <td>16,720</td> <td>19,229</td> <td>18,976 (1.3%減)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北病院</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕</td> <td>2,232</td> <td>1,844</td> <td>1,915</td> <td>4,305</td> <td>1,262</td> <td>1,932</td> <td>1,544</td> <td>2,631</td> <td>2,838</td> <td>679</td> <td>529</td> <td>683</td> <td>1,977</td> <td>693</td> <td>642 (7.4%減)</td> </tr> <tr> <td>点検</td> <td>2,844</td> <td>3,178</td> <td>3,623</td> <td>3,677</td> <td>3,584</td> <td>3,643</td> <td>3,504</td> <td>3,632</td> <td>4,121</td> <td>1,210</td> <td>1,231</td> <td>1,215</td> <td>1,679</td> <td>1,236</td> <td>1,172 (5.2%減)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,076</td> <td>5,022</td> <td>5,538</td> <td>7,982</td> <td>4,846</td> <td>5,575</td> <td>5,048</td> <td>6,263</td> <td>6,959</td> <td>1,889</td> <td>1,760</td> <td>1,898</td> <td>3,656</td> <td>1,929</td> <td>1,814 (6.0%減)</td> </tr> </tbody> </table> <p>改善(主なもの) (単位:万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中央病院</th> <th>R1予定額</th> <th>工事期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神・身体合併症病棟増築工事</td> <td>16,167</td> <td>H30~R1</td> </tr> <tr> <td>二次救急処置室設置工事</td> <td>9,185</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>非常用発電機設備整備</td> <td>5,830</td> <td>R1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北病院</th> <th>R1予定額</th> <th>工事期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1B病棟18・19号室改修工事</td> <td>1,178</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>デイケア棟電気工事</td> <td>168</td> <td>R1</td> </tr> </tbody> </table>	中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	修繕	11,578	9,452	16,437	15,879	12,885	17,870	26,512	18,891	21,904	2,886	1,955	2,063	4,109	5,145	5,586 (8.6%増)	点検	40,690	53,643	49,626	50,992	58,408	57,025	67,106	68,468	77,607	12,081	13,002	14,883	12,611	14,084	13,390 (4.9%減)	計	52,268	63,095	66,063	66,871	71,293	74,895	93,618	87,359	99,511	14,967	14,957	16,946	16,720	19,229	18,976 (1.3%減)	北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	修繕	2,232	1,844	1,915	4,305	1,262	1,932	1,544	2,631	2,838	679	529	683	1,977	693	642 (7.4%減)	点検	2,844	3,178	3,623	3,677	3,584	3,643	3,504	3,632	4,121	1,210	1,231	1,215	1,679	1,236	1,172 (5.2%減)	計	5,076	5,022	5,538	7,982	4,846	5,575	5,048	6,263	6,959	1,889	1,760	1,898	3,656	1,929	1,814 (6.0%減)	中央病院	R1予定額	工事期間	精神・身体合併症病棟増築工事	16,167	H30~R1	二次救急処置室設置工事	9,185	R1	非常用発電機設備整備	5,830	R1	北病院	R1予定額	工事期間	1B病棟18・19号室改修工事	1,178	R1	デイケア棟電気工事	168	R1
中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																								
修繕	11,578	9,452	16,437	15,879	12,885	17,870	26,512	18,891	21,904	2,886	1,955	2,063	4,109	5,145	5,586 (8.6%増)																																																																																																																																								
点検	40,690	53,643	49,626	50,992	58,408	57,025	67,106	68,468	77,607	12,081	13,002	14,883	12,611	14,084	13,390 (4.9%減)																																																																																																																																								
計	52,268	63,095	66,063	66,871	71,293	74,895	93,618	87,359	99,511	14,967	14,957	16,946	16,720	19,229	18,976 (1.3%減)																																																																																																																																								
北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																								
修繕	2,232	1,844	1,915	4,305	1,262	1,932	1,544	2,631	2,838	679	529	683	1,977	693	642 (7.4%減)																																																																																																																																								
点検	2,844	3,178	3,623	3,677	3,584	3,643	3,504	3,632	4,121	1,210	1,231	1,215	1,679	1,236	1,172 (5.2%減)																																																																																																																																								
計	5,076	5,022	5,538	7,982	4,846	5,575	5,048	6,263	6,959	1,889	1,760	1,898	3,656	1,929	1,814 (6.0%減)																																																																																																																																								
中央病院	R1予定額	工事期間																																																																																																																																																					
精神・身体合併症病棟増築工事	16,167	H30~R1																																																																																																																																																					
二次救急処置室設置工事	9,185	R1																																																																																																																																																					
非常用発電機設備整備	5,830	R1																																																																																																																																																					
北病院	R1予定額	工事期間																																																																																																																																																					
1B病棟18・19号室改修工事	1,178	R1																																																																																																																																																					
デイケア棟電気工事	168	R1																																																																																																																																																					

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項  
1 医療の提供  
(3) 県民に信頼される医療の提供

中期目標  
1 医療の提供  
(3) 県民に信頼される医療の提供  
県民及び患者の視点に立ち、県民の健康と生命を守る本県の基幹病院として、信頼される医療を提供すること。

中期計画	年度計画
(3) 県民に信頼される医療の提供 医療の専門化・高度化が進む中で、疾病や診療に関する十分な説明を行い、患者・家族の理解を得るとともに、医療安全対策を徹底し、県民に信頼される医療の提供に努める。	(3) 県民に信頼される医療の提供
①医療安全対策の推進 ア リスクマネージャーの活用 専従のリスクマネージャーを配置した医療安全管理室の機能を活かして、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理責任者への研修など医療安全教育を徹底する。	①医療安全対策の推進 ア リスクマネージャーの活用 ・ リスクマネージャーを活用し、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理責任者への研修など医療安全教育を徹底する。 ・ 職員に対する医療安全教育の一層の向上を図るため、研修内容の見直しや平成30年度に導入したe-ラーニングシステムの活用を推進する。

令和元年度上半期 業務実施状況																																																																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理室において、週1回の医療安全管理対策委員会の開催、月1回の医療安全委員会等の開催、週1回程度の医療安全現場指導の実施などを内容とする業務改善計画を作成している。令和元年度から、医療安全管理室に専従の看護師を2名増員し、医療安全の更なる強化を図っている。</li> <li>医療安全管理対策委員会などで、インシデントレベルの高いレポート、レベルが高くなる可能性のあるレポート、連続して起きているインシデント等を検討・分析し、対応している。 【実施内容】 (中央病院) ・患者誤認防止のための入院時ネームバンド装着 ・医療事故該当性チェックシート再周知・提出状況確認・集計開始 (北病院) ・自殺予防のためのアセスメントシートの使用及び、運用面の検討と評価。 ・院内暴力の予防・防止のための研修会の実施やアセスメントシートの作成 ・誤薬防止のためインシデントの分析と対策検討</li> <li>中央病院では、平成28年度から、院内救急対応として、救命救急科と認定看護師、医師が共同し、心肺蘇生法(BLS)教育を実施している。また、平成30年度からは、すべてのコメディカルや事務職員に対してもBLS研修を実施している。</li> <li>中央病院では、全部署のラウンドに加え、平成29年度に発生した異型輸血医療事故及び薬剤紛失事案を受け、関係する事務マニュアルの見直しを行うとともに、事故発生後関連部署へのラウンド回数を増やし再発防止対策の実践状況確認・評価を適宜行っている。</li> </ul>																																																																													
<p>医療安全現場指導の状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導回数</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>60</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>(50.0%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※医療安全対策委員会メンバーによる現場指導</p>		H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		指導回数	43	41	40	45	60	23	19	24	21	30	45	(50.0%増)																																																			
	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																		
指導回数	43	41	40	45	60	23	19	24	21	30	45	(50.0%増)																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が必ず年に2回研修へ参加できるよう、研修の開催回数を増やした。また、医師や事務職員など職種を限定した研修会を新たに開催し参加者増につなげている。さらに、1回の研修会にできるだけ多くの職員を収容できるよう、他会場でも研修会の内容を映像と音声で流せるよう整備するとともに、eラーニングが可能となるソフトを導入した。</li> </ul>																																																																													
<p>医療安全研修会の開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央病院</td> <td>2回実施 669人参加</td> <td>4回実施 864人参加</td> <td>4回 1,388人参加</td> <td>7回 1,387人参加</td> <td>6回+DVD 1,487人参加</td> <td>8回+DVD 1,941人参加</td> <td>13回 2,572人参加</td> <td>14回 2,388人参加</td> <td>18回+DVD 2,851人参加</td> <td>2回 437人参加</td> <td>4回 675人参加</td> <td>5回 1,000人参加</td> <td>5回 972人参加</td> <td>9回 1,382人参加</td> <td>15回 2,141人参加</td> <td>(54.9%増)</td> </tr> <tr> <td>北病院</td> <td>2回 200人参加</td> <td>2回 195人参加</td> <td>2回 252人参加</td> <td>2回 288人参加</td> <td>2回 324人参加</td> <td>4回+DVD 380人参加</td> <td>4回+DVD 380人参加</td> <td>5回+DVD 418人参加</td> <td>7回+DVD 884人参加</td> <td>1回 162人参加</td> <td>1回 206人参加</td> <td>1回 122人参加</td> <td>1回 122人参加</td> <td>1回 138人参加</td> <td>3回 247人参加</td> <td>(79.0%増加)</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		中央病院	2回実施 669人参加	4回実施 864人参加	4回 1,388人参加	7回 1,387人参加	6回+DVD 1,487人参加	8回+DVD 1,941人参加	13回 2,572人参加	14回 2,388人参加	18回+DVD 2,851人参加	2回 437人参加	4回 675人参加	5回 1,000人参加	5回 972人参加	9回 1,382人参加	15回 2,141人参加	(54.9%増)	北病院	2回 200人参加	2回 195人参加	2回 252人参加	2回 288人参加	2回 324人参加	4回+DVD 380人参加	4回+DVD 380人参加	5回+DVD 418人参加	7回+DVD 884人参加	1回 162人参加	1回 206人参加	1回 122人参加	1回 122人参加	1回 138人参加	3回 247人参加	(79.0%増加)																										
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																														
中央病院	2回実施 669人参加	4回実施 864人参加	4回 1,388人参加	7回 1,387人参加	6回+DVD 1,487人参加	8回+DVD 1,941人参加	13回 2,572人参加	14回 2,388人参加	18回+DVD 2,851人参加	2回 437人参加	4回 675人参加	5回 1,000人参加	5回 972人参加	9回 1,382人参加	15回 2,141人参加	(54.9%増)																																																													
北病院	2回 200人参加	2回 195人参加	2回 252人参加	2回 288人参加	2回 324人参加	4回+DVD 380人参加	4回+DVD 380人参加	5回+DVD 418人参加	7回+DVD 884人参加	1回 162人参加	1回 206人参加	1回 122人参加	1回 122人参加	1回 138人参加	3回 247人参加	(79.0%増加)																																																													
<p>医療安全研修会への参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央病院</td> <td>対象職員 991</td> <td>1,102</td> <td>1,126</td> <td>1,163</td> <td>1,046</td> <td>1,102</td> <td>1,126</td> <td>1,176</td> <td>1,230</td> <td>(4.6%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加職員 797</td> <td>912</td> <td>932</td> <td>1,117</td> <td>488</td> <td>603</td> <td>592</td> <td>776</td> <td>1,023</td> <td>(31.8%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加率 80.4%</td> <td>82.8%</td> <td>82.8%</td> <td>96.0%</td> <td>46.7%</td> <td>54.7%</td> <td>52.6%</td> <td>66.0%</td> <td>83.2%</td> <td>(17.2ポイント増)</td> </tr> <tr> <td>北病院</td> <td>対象職員 203</td> <td>208</td> <td>206</td> <td>203</td> <td>203</td> <td>212</td> <td>208</td> <td>205</td> <td>197</td> <td>(4.0%減)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加職員 202</td> <td>208</td> <td>206</td> <td>203</td> <td>198</td> <td>190</td> <td>122</td> <td>138</td> <td>168</td> <td>(21.7%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加率 99.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>97.5%</td> <td>89.6%</td> <td>58.7%</td> <td>67.3%</td> <td>85.3%</td> <td>(18.0ポイント増)</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		中央病院	対象職員 991	1,102	1,126	1,163	1,046	1,102	1,126	1,176	1,230	(4.6%増)		参加職員 797	912	932	1,117	488	603	592	776	1,023	(31.8%増)		参加率 80.4%	82.8%	82.8%	96.0%	46.7%	54.7%	52.6%	66.0%	83.2%	(17.2ポイント増)	北病院	対象職員 203	208	206	203	203	212	208	205	197	(4.0%減)		参加職員 202	208	206	203	198	190	122	138	168	(21.7%増)		参加率 99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%	89.6%	58.7%	67.3%	85.3%	(18.0ポイント増)
	H27	H28	H29	H30	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																				
中央病院	対象職員 991	1,102	1,126	1,163	1,046	1,102	1,126	1,176	1,230	(4.6%増)																																																																			
	参加職員 797	912	932	1,117	488	603	592	776	1,023	(31.8%増)																																																																			
	参加率 80.4%	82.8%	82.8%	96.0%	46.7%	54.7%	52.6%	66.0%	83.2%	(17.2ポイント増)																																																																			
北病院	対象職員 203	208	206	203	203	212	208	205	197	(4.0%減)																																																																			
	参加職員 202	208	206	203	198	190	122	138	168	(21.7%増)																																																																			
	参加率 99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%	89.6%	58.7%	67.3%	85.3%	(18.0ポイント増)																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理室に感染症専従看護師を配置し、院内の感染症対策の強化を図っている。</li> <li>職員の感染防止対策として、新採用者に対してB型肝炎とウイルス4抗体の抗体検査を行い、必要に応じてワクチンの接種を推奨している。9月末までに68人に対して検査を実施している。</li> </ul>																																																																													



中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザについては、院内に勤務する職員に蔓延した際、病院運営に影響が生じることから、院内の職員を対象とした予防接種を実施している（10月実施）。なお、費用については、職員が自ら院内感染源となることを防ぐ観点などから、病院職員については、全額を病院負担している。</li> </ul> <p>インフルエンザ予防接種の状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院職員</td> <td>932</td> <td>935</td> <td>995</td> <td>1,042</td> <td>1,050</td> <td>1,056</td> <td>1,142</td> <td>1,205</td> <td>(5.5%増)</td> </tr> <tr> <td>委託業者職員</td> <td>51</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>134</td> <td>111</td> <td>-</td> <td>139</td> <td>139</td> <td>(増減なし)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年度はインフルエンザワクチン不足のため、委託業者については他病院での接種を要請した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院では、10月15日をはさむ1週間を病院の医療安全週間と定め、過去の医療事故を風化させないための取り組みを行っている。今年度は、期間中に3回の研修会を実施し、冒頭に院長から過去の医療事故を忘れてはいけないこと及び平成29年度に起きた輸血医療事故、薬剤紛失事案を内容とする訓示を行っている。</li> <li>中央病院では、薬剤紛失事案を受けた対応として、正面玄関等の出入り口の開錠時間を短縮している。</li> </ul>		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		病院職員	932	935	995	1,042	1,050	1,056	1,142	1,205	(5.5%増)	委託業者職員	51	70	70	134	111	-	139	139	(増減なし)																																																																								
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																
病院職員	932	935	995	1,042	1,050	1,056	1,142	1,205	(5.5%増)																																																																																															
委託業者職員	51	70	70	134	111	-	139	139	(増減なし)																																																																																															
<p>イ 情報の共有化</p> <p>チーム医療を推進する中で、より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p>	<p>イ 情報の共有化</p> <p>より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネラルリスクマネージャーが、インシデントレポートを集計・分析し、医療安全委員会、病院会議、院内連絡会議等へ報告し、必要に応じ院内インフォメーションで周知している。</li> </ul> <p>インシデントレポートの状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中央病院</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント数</td> <td>2,782件</td> <td>2,882件</td> <td>3,079件</td> <td>2,841件</td> <td>2,405件</td> <td>2,769件</td> <td>2,994件</td> <td>3,101件</td> <td>3,308件</td> <td>1,254件</td> <td>1,396件</td> <td>1,571件</td> <td>1,593件</td> <td>1,734件</td> <td>1,835件</td> <td>(8.9%増)</td> </tr> <tr> <td>うち生命危険に関わるもの</td> <td>(5件)</td> <td>(5件)</td> <td>(1件)</td> <td>(0件)</td> <td>(1件)</td> <td>(1件)</td> <td>(3件)</td> <td>(0件)</td> <td>(2件)</td> <td>(1件)</td> <td>(0件)</td> <td>(2件)</td> <td>(0件)</td> <td>(0件)</td> <td>(0件)</td> <td></td> </tr> <tr> <th>北病院</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> <tr> <td>インシデント数</td> <td>3,116件</td> <td>2,677件</td> <td>2,088件</td> <td>1,578件</td> <td>1,409件</td> <td>1,356件</td> <td>1,491件</td> <td>1,581件</td> <td>1,337</td> <td>780件</td> <td>712件</td> <td>813件</td> <td>805件</td> <td>755件</td> <td>588</td> <td>(22.1%減)</td> </tr> <tr> <td>うち生命危険に関わるもの</td> <td>(0件)</td> <td>(1件)</td> <td>(1件)</td> <td>(0件)</td> <td>(0件)</td> <td>(2件)</td> <td>(1件)</td> <td>(35件)</td> <td>(27件)</td> <td>(0件)</td> <td>(0件)</td> <td>(1件)</td> <td>(0件)</td> <td>(11件)</td> <td>(7件)</td> <td>(36.4%減)</td> </tr> </tbody> </table>	中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		インシデント数	2,782件	2,882件	3,079件	2,841件	2,405件	2,769件	2,994件	3,101件	3,308件	1,254件	1,396件	1,571件	1,593件	1,734件	1,835件	(8.9%増)	うち生命危険に関わるもの	(5件)	(5件)	(1件)	(0件)	(1件)	(1件)	(3件)	(0件)	(2件)	(1件)	(0件)	(2件)	(0件)	(0件)	(0件)		北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		インシデント数	3,116件	2,677件	2,088件	1,578件	1,409件	1,356件	1,491件	1,581件	1,337	780件	712件	813件	805件	755件	588	(22.1%減)	うち生命危険に関わるもの	(0件)	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(2件)	(1件)	(35件)	(27件)	(0件)	(0件)	(1件)	(0件)	(11件)	(7件)	(36.4%減)
中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
インシデント数	2,782件	2,882件	3,079件	2,841件	2,405件	2,769件	2,994件	3,101件	3,308件	1,254件	1,396件	1,571件	1,593件	1,734件	1,835件	(8.9%増)																																																																																								
うち生命危険に関わるもの	(5件)	(5件)	(1件)	(0件)	(1件)	(1件)	(3件)	(0件)	(2件)	(1件)	(0件)	(2件)	(0件)	(0件)	(0件)																																																																																									
北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
インシデント数	3,116件	2,677件	2,088件	1,578件	1,409件	1,356件	1,491件	1,581件	1,337	780件	712件	813件	805件	755件	588	(22.1%減)																																																																																								
うち生命危険に関わるもの	(0件)	(1件)	(1件)	(0件)	(0件)	(2件)	(1件)	(35件)	(27件)	(0件)	(0件)	(1件)	(0件)	(11件)	(7件)	(36.4%減)																																																																																								
<p>ウ 医療事故への対応</p> <p>医療事故が発生した際の事故調査委員会の設置やその対応マニュアルの作成など、医療事故への対応を図る。</p>	<p>ウ 医療事故への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療事故が発生した際の事故調査委員会の設置やその対応マニュアルの作成など、医療事故への対応を図る。</li> <li>平成29年度に発生した異型輸血医療事故の再発防止策として、輸血事故防止及び病院輸血マニュアル周知の研修会や救命救急センターにおける緊急輸血訓練を継続して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年6月29日に発生した輸血医療事故について、県立中央病院輸血医療事故調査委員会からの提言を受け、再発防止策をとりまとめホームページで公表している。 【再発防止策】 緊急輸血の手順の見直し、緊急輸血に関するマニュアルの整備、必要な機器の設置、安全に緊急輸血が実施できる仕組みづくり</li> <li>病院機能評価受審に向け、医療安全管理システムの組織図や事故発生時の連絡ルートを現状に沿って改訂した。また、医療発生時の対応マニュアル、フローの見直しを行った。</li> <li>医療事故妥当性チェックシートの運用を平成29年6月1日から開始した。全死亡患者が対象であり、医療安全管理室で確認後、院長が最終確認を行っており、提出率は100%となっている。</li> </ul>																																																																																																						
<p>②医療倫理の確立</p> <p>患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。</p>	<p>②医療倫理の確立</p> <p>患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>倫理委員会において、院内で行われる医療行為及び医学の研究に関し、倫理的、社会的観点から審査を行っている。</li> </ul> <p>倫理委員会の審査状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>(50.0%減)</td> </tr> <tr> <td>北病院</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>(50.0%減)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>人を対象とする医学系研究及びヒトゲノム・遺伝子解析研究を審査するため、「臨床研究・ゲノム研究倫理審査委員会」を開催している。</li> <li>H29年度から、倫理委員会及び職員研修委員会主催の倫理に関する研修会を実施することとしている。令和元年度は、東京大学大学院死生学・応用倫理センタの特任教授を招いて「臨床倫理」をテーマに12月に講演会を開催することとしている。</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		中央病院	12	12	14	15	21	25	21	24	20	15	10	12	11	10	5	(50.0%減)	北病院	16	17	12	30	29	16	29	23	31	7	10	19	11	8	4	(50.0%減)																																																			
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																									
中央病院	12	12	14	15	21	25	21	24	20	15	10	12	11	10	5	(50.0%減)																																																																																								
北病院	16	17	12	30	29	16	29	23	31	7	10	19	11	8	4	(50.0%減)																																																																																								

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																																																													
<p>③患者・家族との信頼・協力関係の構築            疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解（インフォームド・コンセント）に基づき、最適な医療を提供する。            また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。</p>	<p>③患者・家族との信頼・協力関係の構築            疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解（インフォームド・コンセント）に基づき、最適な医療を提供する。            また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院では、最適な医療を提供するため、病院機能評価受審を契機にインフォームド・コンセントに関する基準、ガイドラインを策定した。また、倫理委員会の傘下に「インフォームド・コンセント部会」を新設し、インフォームド・コンセントを適切に実施するための様々な取り組みについて議論している。</li> <li>医師と患者との間に見解の相違などが生じた場合には、医療相談や接遇の研修を受講した事務職員が、病院側と患者側の間に立ち、円満な解決に向かうよう対応している。</li> <li>中央病院の患者支援センターにおいて、患者相談の受け付けや、退院調整のための巡回相談を担当看護師と連携して行うなど、患者や家族に対して安心できるサポートを行っている。退院支援件数は、カウント方法を加算対象の実人数と変更したため前年同期と比べて、31.8%減の1,836人となっている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1484 514 2864 630"> <caption>退院支援数(実人員) (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転院</td> <td>864</td> <td>1,213</td> <td>1,207</td> <td>1,153</td> <td>1,407</td> <td>1,401</td> <td>1,691</td> <td>2,743</td> <td>2,347</td> <td>698</td> <td>662</td> <td>786</td> <td>1,364</td> <td>1,305</td> <td>843</td> <td>(35.4%減)</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td>617</td> <td>966</td> <td>1,602</td> <td>1,603</td> <td>2,042</td> <td>2,207</td> <td>1,915</td> <td>2,463</td> <td>2,463</td> <td>1,112</td> <td>1,030</td> <td>1,052</td> <td>1,254</td> <td>1,388</td> <td>993</td> <td>(28.5%増)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,481</td> <td>2,179</td> <td>2,809</td> <td>2,756</td> <td>3,449</td> <td>3,608</td> <td>3,606</td> <td>5,206</td> <td>4,810</td> <td>1,810</td> <td>1,692</td> <td>1,838</td> <td>2,618</td> <td>2,693</td> <td>1,836</td> <td>(31.8%減)</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		転院	864	1,213	1,207	1,153	1,407	1,401	1,691	2,743	2,347	698	662	786	1,364	1,305	843	(35.4%減)	在宅	617	966	1,602	1,603	2,042	2,207	1,915	2,463	2,463	1,112	1,030	1,052	1,254	1,388	993	(28.5%増)	計	1,481	2,179	2,809	2,756	3,449	3,608	3,606	5,206	4,810	1,810	1,692	1,838	2,618	2,693	1,836	(31.8%減)																																																																																																									
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																
転院	864	1,213	1,207	1,153	1,407	1,401	1,691	2,743	2,347	698	662	786	1,364	1,305	843	(35.4%減)																																																																																																																																																															
在宅	617	966	1,602	1,603	2,042	2,207	1,915	2,463	2,463	1,112	1,030	1,052	1,254	1,388	993	(28.5%増)																																																																																																																																																															
計	1,481	2,179	2,809	2,756	3,449	3,608	3,606	5,206	4,810	1,810	1,692	1,838	2,618	2,693	1,836	(31.8%減)																																																																																																																																																															
<p>④医薬品の安心、安全な提供            県立中央病院の病棟への薬剤師の配置を推進し、病棟薬剤業務の拡充を図るとともに、医薬品の処方、投薬の安全性等の確保に努め、患者への服薬指導をさらに推進する。            また、薬剤紛失事案に係る改善計画の着実な実施及び薬剤管理のより一層の強化を図る。</p>	<p>④医薬品の安心、安全な提供            中央病院の病棟への薬剤師の配置を推進し、病棟薬剤業務の拡充を図るとともに、医薬品の処方、投薬の安全性等の確保に努め、患者への服薬指導をさらに推進する。            また、薬剤紛失事案に係る改善計画の着実な実施及び薬剤管理のより一層の強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院では、病棟薬剤師の配置などにより、薬剤業務の充実を図るため、薬剤師を増員している。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1484 724 2730 808"> <caption>中央病院薬剤師の職員数 (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師数</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>27</td> <td>33</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>(2.3%減)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者とのコミュニケーションを図りながら、処方薬の薬効や服薬方法等についてわかりやすく説明し、患者が納得して服薬できるように服薬指導を実施している。服薬指導患者数は、前年同期と比べて59.1%増の4,038件と大幅に増加している。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1484 924 2864 1018"> <caption>服薬指導の状況</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数(人)</td> <td>2,093</td> <td>2,340</td> <td>2,522</td> <td>2,576</td> <td>3,399</td> <td>3,554</td> <td>3,671</td> <td>4,229</td> <td>6,151</td> <td>1,520</td> <td>1,620</td> <td>1,789</td> <td>1,961</td> <td>2,538</td> <td>4,038</td> <td>(59.1%増)</td> </tr> <tr> <td>指導回数(件)</td> <td>2,227</td> <td>2,330</td> <td>2,703</td> <td>2,727</td> <td>3,778</td> <td>4,088</td> <td>4,129</td> <td>4,894</td> <td>7,394</td> <td>1,670</td> <td>1,907</td> <td>2,044</td> <td>2,283</td> <td>2,923</td> <td>5,050</td> <td>(72.8%増)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>持参薬管理の患者数は、前年同期と比べて0.1%増の5,889人、鑑別件数は2.1%増の30,320件となっている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1484 1113 2819 1239"> <caption>病棟薬剤師の配置及び持参薬管理の状況</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病棟数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>(6.3%増)</td> </tr> <tr> <td>患者数(人)</td> <td>243</td> <td>1,918</td> <td>5,162</td> <td>8,460</td> <td>11,497</td> <td>11,837</td> <td>629</td> <td>2,182</td> <td>3,245</td> <td>5,641</td> <td>5,882</td> <td>5,889</td> <td>(0.1%増)</td> </tr> <tr> <td>鑑別件数(件)</td> <td>—</td> <td>12,669</td> <td>29,116</td> <td>45,183</td> <td>57,119</td> <td>60,441</td> <td>3,862</td> <td>12,689</td> <td>18,312</td> <td>27,663</td> <td>29,690</td> <td>30,320</td> <td>(2.1%増)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院では持参薬管理を含む病棟薬剤業務の充実を図るため、平成28年度から全16病棟に専任の病棟薬剤師を配置している。病棟薬剤師は、病棟薬剤業務以外にも入院中の服薬指導や退院時に入院中に使用した薬とその薬に係る副作用発現状況や対応などをお薬手帳に記載し、退院後の薬剤服薬等に関する指導を行った。</li> <li>退院後も安心して薬剤が服用できるよう、退院に際して患者又はその家族に必要な指導を行っている。</li> <li>通院加療がんセンターで治療を行う患者に、治療薬の内容や副作用などの説明を実施している。説明回数は、前年同期と比べて16.2%増の587件となっている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1484 1564 2819 1669"> <caption>通院加療がんセンターでの治療薬の説明状況</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数(人)</td> <td>225</td> <td>198</td> <td>334</td> <td>354</td> <td>838</td> <td>935</td> <td>86</td> <td>154</td> <td>146</td> <td>381</td> <td>468</td> <td>525</td> <td>(12.2%増)</td> </tr> <tr> <td>説明回数(件)</td> <td>225</td> <td>201</td> <td>360</td> <td>383</td> <td>958</td> <td>1,081</td> <td>89</td> <td>155</td> <td>157</td> <td>444</td> <td>505</td> <td>587</td> <td>(16.2%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※通院加療がんセンターは、H25.1月開所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年7月に当院で発生した薬剤紛失事案について、同年8月に県に提出した改善計画を着実に実行することにより、薬剤管理のより一層の強化と再発防止に取り組んでいる。        (主な改善策)        第3種向精神薬の管理方法の強化(施錠管理)、すべての向精神薬について購入量、処方数量、在庫数量を毎月照合、監視カメラ設置、インターホン増設、アラーム装置設置、各種マニュアルの改訂、職員に対する研修会の実施(棚卸、防犯対策)</li> <li>北病院においても自主的な取り組みとして、全ての向精神薬を鍵の掛かる引き出しやシャッター式の薬品棚への保管(施錠管理)、監視カメラの設置により薬剤管理の強化を図っている。</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		薬剤師数	16	18	20	22	27	33	38	42	44	43	(2.3%減)		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		患者数(人)	2,093	2,340	2,522	2,576	3,399	3,554	3,671	4,229	6,151	1,520	1,620	1,789	1,961	2,538	4,038	(59.1%増)	指導回数(件)	2,227	2,330	2,703	2,727	3,778	4,088	4,129	4,894	7,394	1,670	1,907	2,044	2,283	2,923	5,050	(72.8%増)		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		病棟数	—	5	11	16	16	16	5	11	16	16	16	17	(6.3%増)	患者数(人)	243	1,918	5,162	8,460	11,497	11,837	629	2,182	3,245	5,641	5,882	5,889	(0.1%増)	鑑別件数(件)	—	12,669	29,116	45,183	57,119	60,441	3,862	12,689	18,312	27,663	29,690	30,320	(2.1%増)		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期		患者数(人)	225	198	334	354	838	935	86	154	146	381	468	525	(12.2%増)	説明回数(件)	225	201	360	383	958	1,081	89	155	157	444	505	587	(16.2%増)
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																																																																																																					
薬剤師数	16	18	20	22	27	33	38	42	44	43	(2.3%減)																																																																																																																																																																				
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																
患者数(人)	2,093	2,340	2,522	2,576	3,399	3,554	3,671	4,229	6,151	1,520	1,620	1,789	1,961	2,538	4,038	(59.1%増)																																																																																																																																																															
指導回数(件)	2,227	2,330	2,703	2,727	3,778	4,088	4,129	4,894	7,394	1,670	1,907	2,044	2,283	2,923	5,050	(72.8%増)																																																																																																																																																															
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																			
病棟数	—	5	11	16	16	16	5	11	16	16	16	17	(6.3%増)																																																																																																																																																																		
患者数(人)	243	1,918	5,162	8,460	11,497	11,837	629	2,182	3,245	5,641	5,882	5,889	(0.1%増)																																																																																																																																																																		
鑑別件数(件)	—	12,669	29,116	45,183	57,119	60,441	3,862	12,689	18,312	27,663	29,690	30,320	(2.1%増)																																																																																																																																																																		
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																			
患者数(人)	225	198	334	354	838	935	86	154	146	381	468	525	(12.2%増)																																																																																																																																																																		
説明回数(件)	225	201	360	383	958	1,081	89	155	157	444	505	587	(16.2%増)																																																																																																																																																																		

⑤患者サービスの向上

外来患者の待ち時間や患者満足度調査を毎年定期的に実施し、より正確な実態の把握に努め、診療予約制度の効率的運用や受付から精算までが円滑に行われるための施設・設備面を含めた実施体制の整備、職員への接遇研修などにより、患者サービスの向上に努める。

⑤患者サービスの向上

- 各科受付から精算までの患者の流れを改善するため、受付業務、会計・精算事務の見直し等を行い、会計時間の短縮を図るとともに、病院職員の接遇強化も図っていく。
- スムーズな外来診療予約が行えるよう、総合電話予約センターの職員を増員する。
- 入院などの説明をワンストップで行う入退院センターの面談室を3室から10室に増設し、現在3科のみで実施している説明を全診療科に拡大し実施する。
- 平成30年12月に開設した「患者相談窓口」において、医療相談体制の一層の充実を図る。
- 北病院では、患者や来院者の受動喫煙を防止するため、法令に基づいた取り組みを進める。

【中央病院】

- 再来受付機受付後、速やかに検体検査が行えるよう中央採液室の受付時間を15分前倒し8時00分からとし、8時15分から採血業務を実施している。
- 患者さんやその家族が医療及び福祉に関する相談を安心して行うことができ、その相談に対し適切なサポートを行うため、患者等相談コーナーを1階ロビーに設置している。
- 代表電話への繋がりにくさを解消するため、4月より電話交換手を1名増員し、3名体制としている。
- 入院などの説明をワンストップで行う入退院センターの個室の面談室を3室から10室に増やした。これに合わせ、先行して内科、外科、泌尿器科で実施している説明を全診療科に拡大した。

入院センターでの説明状況 (単位:人)

	H28	H29	H30	H28上期	H30上期	R1上期	
入院患者数	3,595	5,792	6,368	2,899	3,153	3,237	(2.7%増)
入院センター説明数	2,253	3,830	3,897	1,867	1,941	3,194	(64.8%増)
内科	1,419	2,140	2,106	1,054	1,036	1,025	(1.1%減)
外科	834	1,234	1,198	613	611	486	(20.5%増)
泌尿器科	-	256	593	-	294	322	(9.5%増)
呼吸器科	-	-	-	-	-	119	
眼科	-	-	-	-	-	403	
整形外科	-	-	-	-	-	127	
婦人科	-	-	-	-	-	209	
耳鼻咽喉科	-	-	-	-	-	110	
心血管外科	-	-	-	-	-	128	
脳血管外科	-	-	-	-	-	8	
形成外科	-	-	-	-	-	42	
皮膚科	-	-	-	-	-	10	
口腔外科	-	-	-	-	-	47	
産科	-	-	-	-	-	99	
産婦科	-	-	-	-	-	0	
緩和ケア科	-	-	-	-	-	0	
救急科	-	-	-	-	-	4	
総合診療科	-	-	-	-	-	6	
小児科	-	-	-	-	-	41	
小児科	-	-	-	-	-	8	
入院センター説明率	62.7%	62.9%	61.2%	61.8%	61.6%	98.7%	

- 来院時の患者サービスの向上を目的として、看護師、事務職員が総合案内に立ち、医療相談や患者への診察案内を行っている。また、平成31年4月からは看護師長経験者3名を「医療コンシェルジュ」に任命し、これまで以上にきめ細やかな医療相談や患者への診察案内を行う体制を整備している。
- 中央病院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」の本審査を平成31年2月に受審し、令和元年7月に認定を受けた。(前述P4)
- 両院において入院・外来患者を対象とした患者満足度調査を実施して患者からの声・評価を確認している。

【北病院】

- 退院後、地域で生活する重症通院患者の多様かつ増大する医療ニーズに対して継続的に支援を行うため、訪問看護ステーションを開設。
- 1B病棟を改修し、患者の利便性を向上させるため、個室4部屋を設置
- 近年の夏場の猛暑対策として、外来ホール、体育館に大型冷風機を設置
- 来院者の受動喫煙対策として、法に則った喫煙所を設置

紙カルテは、電気錠により入室が制限されているカルテ庫において適切に保管した。紙カルテのうち入院カルテについては、カルテ庫内の施錠できる部屋に保管しているが、外来カルテについても、施錠できるパーテーションを新たに設置し、より厳重に管理している。

カルテの記載方法について、中央病院では診療録管理委員会、北病院では医療情報システム管理委員会が中心となって適切な記載方法を院内に周知している。また、カルテ開示については、運用規程等に基づき、適切に実施している。

カルテ開示件数 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
中央病院	23	21	44	64	47	67	45	66	67	26	33	24	31	31	27	(12.9%減)
北病院	2	5	2	3	3	10	10	8	9	2	7	5	1	2	4	(100.0%増)

- 患者の診療情報を厳格に管理するため、これまで委託で行っていた診療録のスキャン業務を平成30年度から内製化し、病院採用職員が業務を行った。その結果、令和元年6月から「診療録管理体制加算1」が取得できた。
- 中央病院では、令和2年度に計画している医療情報システム（電子カルテシステム）の更新に向け、現有システムの改善点や新たな機能について検討している。また、北病院では令和元年6月から新システムを導入し運用を開始している。

⑥診療情報の適切な管理

紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規程の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。

⑥診療情報の適切な管理

紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規程の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。また、文書管理システムを活用し、診療に関する資料の効率的な管理を行う。  
医療情報システム（電子カルテシステム等）の更新に向け、現有システムの改善点や新たな機能の検討を行う。  
北病院では医療情報システムに係るハード整備を行う。

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項  
2 医療に関する調査及び研究

2 医療に関する調査及び研究  
県立病院機構で提供する医療の質の向上、県内の医療水準の向上、県民の健康の確保及び増進、また、新たな医療技術への貢献のため、関係法令・指針等を遵守しつつ、調査及び研究に取り組むこと。

中期計画	年度計画
<p>2 医療に関する調査及び研究 県立病院機構の有する医療資源を活用した調査及び研究を進め、その成果を国内外に積極的に情報発信する。また、調査及び研究に取り組むにあたっては、関係法令・指針等の遵守に努める。</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献 新薬の開発等に貢献するため、治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施する。 また、治験に関する情報をホームページ等で公開する。</p>	<p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献 新薬の開発等に貢献するため、治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施するとともに、臨床試験管理センターにより、治験の円滑な実施と関連部署との連携強化を図る。 また、治験に関する情報をホームページ等で公開する。</p>

令和元年度上半期 業務実施状況

- 中央病院では、治験（新規7件、継続32件）、臨床研究（新規17件、継続24件）、製造販売後調査（新規2件、継続85件）、北病院では、精神科分野の臨床研究（新規4件、継続29件）、製造販売後調査（継続4件）を実施した。また、両院において、治験審査委員会議事録、治験に関する手順書等の情報をホームページで公開している。
- 中央病院では、臨床試験管理センターにおいて、治験に関する事務を一元的に処理するとともに、関係機関、関連部署との調整、連携強化を図っている。

治験の実施状況 (単位:件)

中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
治験	5	13	9	14	10	10	12	17	11	0	6	6	10	5	7	(40.0%増)
新規	5	13	9	14	10	10	12	17	11	0	6	6	10	5	7	(40.0%増)
継続	3	5	14	16	19	20	21	23	33	19	20	21	23	33	32	(3.0%減)
終了	3	4	7	11	9	9	10	7	12	8	8	5	3	7	3	(57.1%減)
臨床研究	10	13	15	21	17	16	16	32	53	4	9	12	9	33	17	(48.5%減)
新規	10	13	15	21	17	16	16	32	53	4	9	12	9	33	17	(48.5%減)
継続	0	10	20	32	43	49	56	57	49	43	49	56	51	96	24	(75.0%減)
終了	0	3	3	10	11	9	21	21	27	5	7	14	16	15	25	(66.7%増)
製造販売後調査	29	22	21	15	22	31	29	29	24	9	14	17	12	13	2	(84.6%減)
新規	29	22	21	15	22	31	29	29	24	9	14	17	12	13	2	(84.6%減)
継続	79	89	88	83	70	64	72	80	89	70	64	72	80	86	85	(1.7%減)
終了	19	23	26	28	28	23	21	20	20	13	14	18	10	15	9	(40.0%減)
北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
治験	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)
新規	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)
継続	0	4	4	4	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	(増減なし)
終了	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(増減なし)
臨床研究	0	0	0	0	0	0	15	26	28	0	0	0	12	5	4	(20.0%減)
新規	0	0	0	0	0	0	15	26	28	0	0	0	12	5	4	(20.0%減)
継続	0	0	0	0	0	0	0	15	29	0	0	0	15	29	29	(増減なし)
終了	0	0	0	0	0	0	0	12	28	0	0	0	1	3	6	(100.0%増)
製造販売後調査	2	2	0	3	3	2	1	2	0	2	1	0	1	0	0	(増減なし)
新規	2	2	0	3	3	2	1	2	0	2	1	0	1	0	0	(増減なし)
継続	1	3	5	2	5	5	5	6	7	5	5	5	6	7	4	(42.9%減)
終了	0	0	3	0	3	2	0	1	1	3	0	0	0	0	2	皆増

- C型肝炎の患者に対して、新たに保険適用となった新薬（ソバルディ、ハーボニー）での治療を実施しており、発売開始から9月末日までに511人の患者に対して治療を行っている（治験を含めると561人）。投薬終了後の再発は5例のみであり、非常に良好な治療成績となっている。  
なお、この新薬は、当機構の小俣理事長が治験を担当し、保険適用を進めたものであり、治療実績は、全国でも上位となっている。

新薬による肝炎治療の状況

	患者数	購入額	
ソバルディ	161人	7.6億円	(治療患者数全国 11位)
ハーボニー	350人	20.7億円	(治療患者数全国 3位)
計	511人	27.4億円	

※患者数、購入額は発売から9月末日の実績

オラパリブの投与

がん化した細胞に対して、特異的に細胞死を誘導することを目的に開発が進められている分子標的薬(PARP阻害剤)であるオラパリブの有効性は、がん抑制遺伝子の一種であるBRCA変異を有する卵巣癌に対し、従来の治療より副作用が少なく、腫瘍の増悪までの期間を延長できると報告されている。PARP阻害剤であるオラパリブの有効性は、既に海外では確立されている。

中央病院では、平成25年度からBRCA検査が自施設(ゲノム解析センター)で可能になり、変異症例に対して、日本では未承認薬であったオラパリブについて、平成27年11月25日に倫理委員会での承認を受け、「プラチナ感受性BRCA変異陽性再発卵巣癌」に対し、MAP(Managed Access Program)を利用したオラパリブ投与という日本で初めての臨床試験を計画し、平成28年1月に1例目の投与を開始した。

また、平成30年1月には製造販売承認され、同年4月には薬価収載されたことから、先行して研究を実施してきた当院では、今後もオラパリブの投与を推進していく。

※ MAP (Managed Access Program) : 国内未承認薬で国外ではすでに提供されている薬剤を国内承認まで無償で提供するシステム。但し、独立した国際的第三者機関の承認が必要

(2) 各種調査研究の推進

医療技術の向上に貢献するため、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を県立大学等と連携し、積極的に推進する。

(2) 各種調査研究の推進

医療技術の向上に貢献するため、臨床事例をもとに、各種調査研究を県立大学等と連携し、積極的に推進する。

認知コンピュータ(コグニティブ・コンピューティング・システム)を利用した診断等の可能性について調査、研究を行う。

- 看護の質の向上を目指して、平成26年から県立大学と共同研究を行っている。平成30年度は、13の研究テーマのうち、「高度救命救急センターにおける熱傷処置統一に向けた取組」など12テーマを共同研究として実施しており、平成31年2月に看護研究学術集会を開催する予定となっている。

看護研究学術集会の状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
研究テーマ数	53	49	47	34	27	35	28	19	19	13	(31.6%減)
(うち共同研究数)	0	0	0	0	13	31	25	18	18	12	(33.3%減)

英文論文数

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:本)
当院発	1	2	4	3	6	14	16	29	19	3	9	6	13	12	6	(50%減)
共同	0	0	0	1	2	18	17	6	24	1	12	14	7	8	7	(12.5%減)

※pub med(生命科学や生物医学分野の学術論文等検索サイト)からの抽出数による。

- 中央病院の「病院会議」に第2部を設け、各診療科の診療内容、治療成績、最近のトピック、今後の展望など各科の特色の相互理解を深め、かつ、今後の医療に関する調査・研究課題を探索している。
- 図書室において、医師・看護師等の調査・研究に必要な資料・情報等を提供し、論文、講演会等の資料作成を支援して
- より充実した学習環境を提供するため、図書室を改修し、4月から利用を開始している。また、11月からは図書室内にWi-Fi環境を整備し職員が利用できるようになった。

(参考)

学術活動(論文)の状況

中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	(単位:本)
英文論文	14	57	36	28	16	53	52	56	45	
邦文論文	123	119	105	76	42	58	29	40	61	
計	137	176	141	104	58	111	81	96	106	

学術活動(論文)の状況

北病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
英文論文		1		2			1	1	0
邦文論文	28	16	10	10	36	15	5	14	20
計	28	17	10	12	36	15	6	15	20

学術活動(講演)の状況

中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国外講演会	8	71	65	34	27	25	34	31	33
国内講演会	318	401	415	374	334	551	567	596	507
計	326	472	480	408	361	576	601	627	540



県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 医療に関する技術者の研修

3 医療に関する技術者の研修

医療従事者の確保、育成及び定着を図るとともに、県内の医療水準の向上のため、他の医療機関と連携して研修等の充実に努めること。

(1) 医療従事者の研修の充実

医療従事者の知識・技術の向上を図り、また、医療従事者に魅力ある病院となるよう研修の充実に努めること。

(2) 県内の医療水準の向上

他の医療機関等の医療従事者に対し、県立病院機構の持つ知識や技術を研修等により普及し、県内の医療水準の向上を図ること。

また、医療従事者養成機関等の実習の受け入れ等、本県の医療を担う医療従事者の育成に協力すること。

中期計画

3 医療に関する技術者の研修

医療従事者の研修の充実に取り組むとともに、他の医療機関との交流を進める。

(1) 医療従事者の研修の充実

① 医師の専門性の向上

研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援し、医師の専門性の向上を図る。

② 認定看護師等の資格取得の促進

認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。

③ 研修の充実

院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などを行い、職員の資質の向上を図る。

年度計画

3 医療に関する技術者の研修

(1) 医療従事者の研修の充実

① 医師の専門性の向上

研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援するとともに、医師の専門性の向上を図る。

② 認定看護師等の資格取得の促進

認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。

③ 研修の充実

院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などにより、職員の資質の向上を図る。

令和元年度上半期 業務実施状況

・ 国内外の各種学会に積極的に参画するとともに、院内学術集会・院内医療従事者研修会を実施している。

学術活動(講演)の状況

中央病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国外講演会	8	71	65	34	27	25	34	31	33
国内講演会	318	401	415	374	334	551	567	596	507
計	326	472	480	408	361	576	601	627	540

(院内学術集会)

開催月	内容
8月	血液造血幹細胞移植ドナーとなるための不安の要因と看護の課題 Short Hydration 法導入における抗がん薬シスプラチンの安全性について マルチプレックス遺伝子診断(FilmArray)によるMRSA敗血症の早期治療介入の実現 フォンタン術後症例に対する外来での大量腹水穿刺の経験
10月	嚥下外来の取り組み ~現状と今後の展望~ 造血幹細胞移植患者の長期フォローアップ看護の必要性と課題 ご存知ですか? 法令改正に伴う放射線管理変更の概要 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療

・ 院内外の医療従事者を対象にしたカンサーボードを開催し、がん医療の質の向上に努めた。平成25年度からは、領域別のカンサーボードを開催するだけでなく、包括的に最適な医療を検討する場として、総合カンサーボードを開催しており、令和元年度上期は5回開催し、累計で76回となった。

総合カンサーボード開催状況

No.	開催日	内容	担当者	座長	人数
72	平成31年4月23日(火)	化学放射線同時併用療法(CCRT)の有効性? -30年の歴史的検討-	耳鼻咽喉科 平賀 幸弘	中込副院長	43
73	令和元年5月28日(火)	山梨県における脳腫瘍の治療状況	山梨大学 脳神経外科 川瀬 智之 准教授	中野Dr.	51
74	令和元年6月25日(火)	皮膚がんの外科治療	皮膚科 塚本 克彦 形成外科 小林 公一	飯室Dr.	33
75	令和元年7月23日(火)	ロボット手術:これまでとこれから!	深澤ME 羽田Dr 横山Dr 坂本Dr 大芝Ns 杉田Ns 広瀬Ns 佐野Ns	小俣理事長	85
76	令和元年9月24日(火)	肺がん治療最前線 大阪国際がんC vs 山梨県中	呼吸器内科 柿崎由美子 BB 磯部陽呼 大阪国際がんC 園政 啓	後藤Dr.	38

- 最新情報を研修医と上級専門医が解説するカンファレンスであるMedical & Surgical Ground Rounds (MSGR) を、上期は10回実施し、累計で162回となった。毎回参加者は40人を超えている。(前述P10)

開催回	開催日	トピックス	文献
第153回	5月13日	CKD、鉄含有リン吸着薬	J Am Soc Nephrol 2017; 28:1851-1858
第154回	5月27日	肺癌、化学療法	N Engl J Med. 2018 20;379:2395-2406.
第155回	6月10日	MSI、胃癌	Nature Med. 2018 24:1449-1458
第156回	6月24日	閉塞隅角緑内障、白内障手術 vs レーザー虹彩切開術	Lancet 2016; 388: 1389-97
第157回	7月8日	肺癌、臨床とゲノムの情報の融合	JAMA. 2019 9;321:1391-1399
第158回	7月22日	腹部大動脈瘤、開腹vsステントグラフト	N Engl J Med 2019;380:2126-35
第159回	8月5日	転移性前立腺がん、ホルモン療法、Abiraterone	N Engl J Med 2017; 377:352-360.
第160回	8月19日	乳児、全身麻酔、神経発達	Lancet 2019; 393: 664-77
第161回	9月9日	放射線画像診断、ゲノム情報、AI	European radiology 2018; 28: 4350-4361
第162回	9月30日	EBV関連胃癌、PD-L1	Modern Pathology. 2017 ; 30:427-439

- 平成27年度から、医師、看護師、医療従事者等を対象に研修の一元化を目的とした、教育研修センターを設置し、医療の質の維持・向上を図っている。
- 平成28年度から、教育研修センターに臨床研修センター及び医療教育シミュレーションセンターを開設し、医師などの医療職の実技研修の充実を図っている。令和元年度は看護師を対象とした「BLS・ALS学習会」等の研修を実施している。(前述P10)
- 認定看護師取得のため、教育課程を5人が受講している(緩和ケア3人、認知症看護1人、手術室看護1人)。

認定看護師等の状況

		(単位:人)														
中央病院		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日
専門看護師	0	1	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	3	3	3	2
認定看護師	14	14	16	17	21	19	20	22	22	21	19	21	21	24	27	
		(33.3%減) (3人増)														
北病院		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日
専門看護師	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	2	2	3	
認定看護師	3	4	5	5	6	7	7	6	7	6	7	8	7	7	8	
		(50.0%増) (14.3%増)														

- 医療従事者等の研修等の充実のため、研修会、学会参加旅費、負担金、認定看護師受講料、研修医指導用図書購入費等の職員研究研修に係る必要額を予算計上している。

研修予算の状況

		(単位:千円)						
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
予算額		13,405	13,570	15,139	17,284	18,508	20,460	30,549
		(49.3%増)						

- 中央病院では、看護職員を対象にオンライン講義のネット配信により個人学習をすることができるeラーニング研修を平成26年度から本格的に導入しており、看護の質の向上に努めている。
- 中央病院では、医療機器の安全使用のため、臨床工学技師が講師となり、職員を対象とした研修を実施している。

医療機器安全研修の状況

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
開催回数(回)	8	14	19	11	15	8	20	22	8	12	8	13	20	21	
参加者数(人)	75	210	220	230	240	212	357	633	190	220	230	502	785	453	
		(5.0%増) (42.3%減)													

- 平成30年度から医療ガス会社の社員を講師として招き「医療ガス研修会」を開催しており、医療ガス器具の実際の取り扱い方法や危険性などより実践的な内容で開催している。令和元年度も2月に開催を予定している。



中期計画

年度計画

令和元年度上半期 業務実施状況

(2) 県内の医療水準の向上

① 地域医療従事者の研修

他の地域医療機関の医療従事者を対象とした医療技術の向上に資する研修を実施する。

② 研修、実習等の実施

他の医療機関の医療従事者などを対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療等に係る研修を実施する。

③ 医療従事者養成機関からの実習生の受け入れ

看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師等を目指す実習生を養成機関から積極的に受け入れ、人材養成の支援に努める。

(2) 県内の医療水準の向上

① 地域医療従事者の研修

他の地域医療機関の医療従事者を対象とした病院セミナーの定期的な開催など、医療技術の向上に資する研修を実施する。

② 研修、実習等の実施

他の医療機関の医療従事者などを対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療等に係る研修を実施する。

③ 医療従事者養成機関からの実習生の受け入れ

看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師等を目指す実習生を養成機関から積極的に受け入れ、人材養成の支援に努める。

- 院内外の医療従事者を対象とした、がん医療従事者研修会やエイズ研修会、総合周産期母子医療センター症例検討会を実施している。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
開催回数(回)	6	6	10	8	6	6	5	5	7	1	1	1	1	2	2	(増減なし)
参加者数(人)	311	312	809	537	649	387	387	328	205	44	32	35	31	85	50	(41.2%減)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
エイズ研修会	6	6	10	5	3	1	2	5	5	0	0	0	0	0	1	(1回増)
総合周産期母子医療センター症例検討会	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	(増減なし)

- 看護師、薬剤師、精神保健福祉士等の実習生の受け入れや、NST専門療法士実地修練を実施している。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
中央病院	686	662	718	718	745	734	687	730	659	359	381	401	512	468	463	(1.1%減)
看護師	3	6	2	9	7	9	8	7	11	5	9	8	7	8	6	(25.0%減)
薬剤師	4	4	4	4	3	0	0	0	1	3	2	0	0	0	2	(皆増)
NST	※NST(栄養サポートチーム)専門療法士実地修練															

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
北病院	106	107	118	79	90	101	108	96	104	71	70	63	50	33	39	(34.0%減)
看護師	15	14	15	10	12	13	9	10	1	4	3	3	2	1	2	(100.0%増)
精神保健福祉士	3	5	3	3	2	4	2	2	0	8	2	2	2	0	0	(増減なし)
臨床心理士	1	1	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	2	2	(増減なし)
作業療法士																

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 医療に関する地域への支援

4 医療に関する地域への支援

本県の基幹病院として、他の医療機関と密接な連携を通じて、県民に良質な医療を提供するとともに、地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう努めること。

(1) 地域医療機関との協力体制の強化

他の医療機関との協力のもと、病病・病診連携を推進し、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制の構築に努めること。

(2) 地域医療への支援

本県の基幹病院の役割を果たすため、紹介率・逆紹介率を向上する取組みを進めることなどにより、地域の医療機関との連携を一層強化すること。

また、臨床研修指定病院等としての機能を充実し、研修医や専修医の育成を図り、県内への医師の定着に寄与すること。

さらに、県立病院機構に必要な医師の確保及び定着を図る中で、他の医療機関への支援に努めること。

(3) 地域社会への協力

医療従事者の専門的な知識及び技術を保健、医療、福祉、教育等に関係する機関に提供し、人材の育成、講師の派遣、調査、鑑定などの地域社会からの要請に積極的に協力すること。

中期目標

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																														
<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>地域医療機関との連携の強化及び機能の分担を図る中で、県立病院機構の機能を活かし、医療に関する地域への支援を行う。</p>	<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化</p> <p>県立中央病院が、地域医療支援病院として、患者支援センターを中心に、いわゆる病病・病診連携を推進していく。</p> <p>また、地域の医療水準向上のため、患者が退院する際には、紹介元の医療機関に加え、身近な「かかりつけ医」に対しても、画像などを添付した診療情報提供書により情報を共有し、地域の医療機関と連携した治療を行う。</p> <p>かかりつけ医検索システムを活用し、連携医への紹介促進及び連携医情報の提供により患者サービスの向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介状に対する返書作成の推進、連携登録医（かかりつけ医）一覧の患者支援センター入口への掲示、連携登録医の訪問、連携登録医を対象とした研修会などを行い、患者支援センターを中心に、地域の医療機関との連携強化を図っている。</li> <li>また、平成27年9月からは、地域の医療水準の向上のため、入院患者をかかりつけ医に紹介する際、診療情報提供書に画像などの情報を添付することを医師に徹底し、病棟看護師などが漏れがないか確認を行っている。情報添付ありの診療情報提供書は、9.9%減の2,230人、情報添付なしは、1.5%増の208人となっている。</li> <li>中央病院の患者が当院の連携医や近隣医療機関を容易に検索でき、かつ必要な情報を取り出すことができる「かかりつけ医検索システム」を導入している。</li> </ul> <p>連携登録医療機関の状況 (単位: 院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23末</th> <th>H24末</th> <th>H25末</th> <th>H26末</th> <th>H27末</th> <th>H28末</th> <th>H29末</th> <th>H30末</th> <th>H26.9末日</th> <th>H27.9末日</th> <th>H28.9末日</th> <th>H29.9末日</th> <th>H30.9末日</th> <th>R1.9末日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>173</td> <td>348</td> <td>351</td> <td>435</td> <td>460</td> <td>478</td> <td>466</td> <td>475</td> <td>351</td> <td>456</td> <td>460</td> <td>478</td> <td>476</td> <td>482 (1.3%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>診療情報提供書(退院時情報添付)の状況 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報添付あり</td> <td>1,686</td> <td>1,851</td> <td>2,060</td> <td>2,019</td> <td>2,371</td> <td>2,851</td> <td>3,580</td> <td>4,509</td> <td>4,797</td> <td>1,145</td> <td>1,168</td> <td>1,529</td> <td>2,149</td> <td>2,475</td> <td>2,230 (9.9%減)</td> </tr> <tr> <td>情報添付なし</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>586</td> <td>392</td> <td>366</td> <td>316</td> <td>419</td> <td>354</td> <td>263</td> <td>205</td> <td>173</td> <td>205</td> <td>208 (1.5%増)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,957</td> <td>3,243</td> <td>3,946</td> <td>4,825</td> <td>5,216</td> <td>1,499</td> <td>1,431</td> <td>1,734</td> <td>2,322</td> <td>2,680</td> <td>2,438 (9.0%減)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※情報添付なしは、集計方法が変更になったためH26から記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介患者が円滑に受診できるよう、紹介患者専用受付窓口を設置するとともに、総合電話予約センターにおいて、紹介患者の初診電話予約の受け付けを行っている。</li> <li>紹介率は、前年同期と比べて2.8ポイント増の83.5%、逆紹介率は、1.0ポイント減の74.4%となっている。</li> </ul> <p>平均紹介率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>53.1%</td> <td>54.3%</td> <td>57.4%</td> <td>57.7%</td> <td>62.0%</td> <td>65.7%</td> <td>75.0%</td> <td>79.2%</td> <td>80.9%</td> <td>59.2%</td> <td>63.4%</td> <td>73.3%</td> <td>80.1%</td> <td>80.7%</td> <td>83.5% (2.8ポイント増)</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>34.0%</td> <td>37.4%</td> <td>41.1%</td> <td>42.6%</td> <td>52.0%</td> <td>54.7%</td> <td>63.4%</td> <td>71.1%</td> <td>75.3%</td> <td>50.4%</td> <td>48.9%</td> <td>58.4%</td> <td>65.7%</td> <td>75.4%</td> <td>74.4% (1.0ポイント減)</td> </tr> </tbody> </table>		H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日	医療機関数	173	348	351	435	460	478	466	475	351	456	460	478	476	482 (1.3%増)		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	情報添付あり	1,686	1,851	2,060	2,019	2,371	2,851	3,580	4,509	4,797	1,145	1,168	1,529	2,149	2,475	2,230 (9.9%減)	情報添付なし	—	—	—	—	586	392	366	316	419	354	263	205	173	205	208 (1.5%増)	計	—	—	—	—	2,957	3,243	3,946	4,825	5,216	1,499	1,431	1,734	2,322	2,680	2,438 (9.0%減)		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	紹介率	53.1%	54.3%	57.4%	57.7%	62.0%	65.7%	75.0%	79.2%	80.9%	59.2%	63.4%	73.3%	80.1%	80.7%	83.5% (2.8ポイント増)	逆紹介率	34.0%	37.4%	41.1%	42.6%	52.0%	54.7%	63.4%	71.1%	75.3%	50.4%	48.9%	58.4%	65.7%	75.4%	74.4% (1.0ポイント減)
	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	H26.9末日	H27.9末日	H28.9末日	H29.9末日	H30.9末日	R1.9末日																																																																																																																																		
医療機関数	173	348	351	435	460	478	466	475	351	456	460	478	476	482 (1.3%増)																																																																																																																																		
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																	
情報添付あり	1,686	1,851	2,060	2,019	2,371	2,851	3,580	4,509	4,797	1,145	1,168	1,529	2,149	2,475	2,230 (9.9%減)																																																																																																																																	
情報添付なし	—	—	—	—	586	392	366	316	419	354	263	205	173	205	208 (1.5%増)																																																																																																																																	
計	—	—	—	—	2,957	3,243	3,946	4,825	5,216	1,499	1,431	1,734	2,322	2,680	2,438 (9.0%減)																																																																																																																																	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																	
紹介率	53.1%	54.3%	57.4%	57.7%	62.0%	65.7%	75.0%	79.2%	80.9%	59.2%	63.4%	73.3%	80.1%	80.7%	83.5% (2.8ポイント増)																																																																																																																																	
逆紹介率	34.0%	37.4%	41.1%	42.6%	52.0%	54.7%	63.4%	71.1%	75.3%	50.4%	48.9%	58.4%	65.7%	75.4%	74.4% (1.0ポイント減)																																																																																																																																	

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																																																																																																																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療を担う連携登録医（かかりつけ医）等の資質向上を図るため、地域連携研修会を開催している。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>(2) 地域医療への支援</p> <p>① 医療機器の共同利用 県立中央病院の施設、設備、高度・特殊な医療機器の共同利用などを進める。</p> <p>② 臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 県立病院機構の機能を活かした研修プログラムの内容の充実を図るとともに、指導医の育成、資質の向上に積極的に取り組むことで、臨床研修医と専修医を確保し、本県への医師の定着を促進する等地域医療への支援を行う。</p> <p>③ 公的医療機関への支援 県立病院機構の医師の増員を図る中で、公的医療機関への外来診療の協力体制を推進する。</p>	<p>(2) 地域医療への支援</p> <p>① 医療機器の共同利用 他の医療機関等から県立中央病院所有の医療機器による検査等の依頼があった場合は積極的に引き受ける。特に、平成30年11月より開始した「DXA法」による高精度な骨密度検査の共同利用について、積極的な活用を促進する。</p> <p>② 臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 臨床研修医と専修医を確保し、本県への医師の定着を促進するため、平成30年度から開始した新専門医制度において、内科、救急科、整形外科、総合診療科、精神科では基幹施設として、またその他の科では連携施設として、専修医（専攻医）の受け入れを行い、引き続き研修を実施する。また、平成31年度から新たに基幹施設となる外科領域において研修を開始する。</p> <p>③ 公的医療機関への支援 県立病院機構の医師の増員を図る中で、公的医療機関への外来診療の協力体制を推進する。</p>	<p>患者支援センター主催研修の開催状況 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(42.9%減)</p> <p>CT、MRI、RIの放射線検査機器を活用し、開業医等からの依頼検査を実施している。 また、中央病院が所有する高性能な骨密度測定装置の共同利用を促進するため、平成30年11月から予約枠を拡大し県民の健康維持に寄与することとした。</p> <p>依頼検査の状況 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>71</td> <td>64</td> <td>111</td> <td>115</td> <td>109</td> <td>112</td> <td>134</td> <td>135</td> <td>150</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>67</td> <td>63</td> <td>67</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>(64.8%増)</p> <p>本県への医師の定着を促進するため、令和元年度初期臨床研修において、18人の定員で募集を行ったところ、令和2年度総合研修プログラムのマッチ率は前年度に引き続き100%となった。(前述P10)</p> <p>初期臨床研修医のマッチ状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>マッチ者数</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>マッチ率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>68.8%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>72.2%</td> <td>100.0%</td> <td>94.4%</td> <td>87.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5.9%増) (5.9%減) (増減なし)</p> <p>県内の地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生の研修を中央病院で受け入れている。 (飯富病院1名、塩川病院1名、上野原市立病院1名)</p> <p>自治医科大学卒業生の研修受け入れ状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H26上期</th> <th>H27上期</th> <th>H28上期</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入数</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(25.0%減)</p> <p>新専門医制度において、内科、外科、小児科、総合診療科、救急科、整形外科の専門研修基幹施設として、またその他の科では連携施設として、専攻医の専門医資格取得を人的及び物的に支援するため、専門研修プログラム作成などの準備を行っており、平成30年度から開始している。 令和元年度は、内科4名、外科2名、救急科2名、小児科1名、産婦人科1名、整形外科2名、麻酔科2名、精神科2名の計16名の専攻医を採用した。また、令和2年度は、内科5名、外科1名、精神科2名の計8名の専攻医の採用を予定している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">R1 新規採用専攻医（中央病院）</th> <th colspan="4">R1 新規採用専攻医（北病院）</th> </tr> <tr> <th>現所属名</th> <th>領域</th> <th>基幹プログラム</th> <th>基幹施設</th> <th>現所属名</th> <th>領域</th> <th>基幹プログラム</th> <th>基幹施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消化器内科</td> <td>内科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td>精神科</td> <td>精神科</td> <td>山梨県立北病院</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>血液内科</td> <td>内科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td>精神科</td> <td>精神科</td> <td>山梨県立北病院</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>呼吸器内科</td> <td>内科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼吸器内科</td> <td>内科</td> <td>日本医科歯科大学</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胃食道外科</td> <td>外科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>外科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急科</td> <td>救急科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>富士吉田市立病院</td> <td>救急科</td> <td>山梨県立中央病院</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>小児科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>産科</td> <td>産婦人科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>整形外科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>整形外科</td> <td>順天堂大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻酔科</td> <td>麻酔科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻酔科</td> <td>麻酔科</td> <td>山梨大学医学部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>北病院では、令和元年8月、塩川病院から精神科医師の派遣依頼を受け、医師派遣協定を締結し、毎週1日医師の派遣を実施している。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	開催数	0	0	0	3	4	13	14	14	14	2	6	7	5	7	4		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	開催数	71	64	111	115	109	112	134	135	150	54	61	67	63	67	110	採用年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	定員	12	12	16	16	16	18	18	18	16	17	18	マッチ者数	12	12	11	16	16	13	18	17	14	17	18	マッチ率	100.0%	100.0%	68.8%	100.0%	100.0%	72.2%	100.0%	94.4%	87.5%	100.0%	100.0%		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	受入数	0	10	11	9	5	7	6	6	4	5	3	6	5	4	3	R1 新規採用専攻医（中央病院）				R1 新規採用専攻医（北病院）				現所属名	領域	基幹プログラム	基幹施設	現所属名	領域	基幹プログラム	基幹施設	消化器内科	内科	山梨県立中央病院	○	精神科	精神科	山梨県立北病院	○	血液内科	内科	山梨県立中央病院	○	精神科	精神科	山梨県立北病院	○	呼吸器内科	内科	山梨大学医学部						呼吸器内科	内科	日本医科歯科大学						胃食道外科	外科	山梨県立中央病院	○					心臓血管外科	外科	山梨県立中央病院	○					救急科	救急科	山梨県立中央病院	○					富士吉田市立病院	救急科	山梨県立中央病院	○					小児科	小児科	山梨大学医学部						産科	産婦人科	山梨大学医学部						整形外科	整形外科	山梨大学医学部						整形外科	整形外科	順天堂大学医学部						麻酔科	麻酔科	山梨大学医学部						麻酔科	麻酔科	山梨大学医学部					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																																																																																																																			
開催数	0	0	0	3	4	13	14	14	14	2	6	7	5	7	4																																																																																																																																																																																																																																																																			
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																																																																																																																			
開催数	71	64	111	115	109	112	134	135	150	54	61	67	63	67	110																																																																																																																																																																																																																																																																			
採用年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2																																																																																																																																																																																																																																																																							
定員	12	12	16	16	16	18	18	18	16	17	18																																																																																																																																																																																																																																																																							
マッチ者数	12	12	11	16	16	13	18	17	14	17	18																																																																																																																																																																																																																																																																							
マッチ率	100.0%	100.0%	68.8%	100.0%	100.0%	72.2%	100.0%	94.4%	87.5%	100.0%	100.0%																																																																																																																																																																																																																																																																							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期																																																																																																																																																																																																																																																																			
受入数	0	10	11	9	5	7	6	6	4	5	3	6	5	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																			
R1 新規採用専攻医（中央病院）				R1 新規採用専攻医（北病院）																																																																																																																																																																																																																																																																														
現所属名	領域	基幹プログラム	基幹施設	現所属名	領域	基幹プログラム	基幹施設																																																																																																																																																																																																																																																																											
消化器内科	内科	山梨県立中央病院	○	精神科	精神科	山梨県立北病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																											
血液内科	内科	山梨県立中央病院	○	精神科	精神科	山梨県立北病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																											
呼吸器内科	内科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
呼吸器内科	内科	日本医科歯科大学																																																																																																																																																																																																																																																																																
胃食道外科	外科	山梨県立中央病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
心臓血管外科	外科	山梨県立中央病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
救急科	救急科	山梨県立中央病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
富士吉田市立病院	救急科	山梨県立中央病院	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
小児科	小児科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
産科	産婦人科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
整形外科	整形外科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
整形外科	整形外科	順天堂大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
麻酔科	麻酔科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																
麻酔科	麻酔科	山梨大学医学部																																																																																																																																																																																																																																																																																

- (3) 地域社会への協力
- ①救急救命士の育成  
救命救急センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。
  - ②看護師養成機関等への講師派遣  
看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。
  - ③公的機関からの鑑定・調査への協力  
公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。

- (3) 地域社会への協力
- ①救急救命士の育成  
救命救急センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。
  - ②看護師養成機関等への講師派遣  
看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。
  - ③公的機関からの鑑定・調査への協力  
公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。

- ・ 救急救命士の育成のため、就業前実習、再教育実習、薬剤投与実習、気管挿管実習などを実施している。

救急救命士の育成の状況 (単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
就業前実習	12	11	15	10	10	10	18	19	18	5	4	9	9	9	12	(33.3%増)
再教育実習	155	158	177	188	205	188	207	207	227	104	102	99	93	119	127	(6.7%増)
薬剤投与実習	16	16	0	0	0	10	18	19	18	5	4	9	9	9	12	(33.3%増)
気管挿管実習	4	5	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	(増減なし)
臨床実習	8	10	8	8	10	6	12	14	10	7	6	7	5	5	8	(60.0%増)
メディカルオフィサー	4	4	4	4	5	8	4	4	4	3	3	3	2	3	2	(33.3%減)
計	199	204	206	211	231	223	269	264	278	124	120	127	119	146	162	(11.0%増)

- ・ 県立大学、県立大学大学院、共立高等看護学院、帝京福祉専門学校等に対し職員を講師として派遣している。

県立大学等への講師の派遣状況 (単位:人、回)

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
県立大学、大学院	人数	6	8	17	17	15	15	22	13	13	18	16	13	17	(30.8%増)
	回数	6	21	31	44	35	22	39	20	25	28	20	16	18	(12.5%増)
看護専門学校	人数	2	2	3	3	4	3	5	2	2	4	1	0	3	(皆増)
	回数	2	2	10	9	11	9	6	5	5	10	2	0	6	(皆増)
その他	人数	11	19	42	38	39	45	57	28	25	43	27	50	32	(36.0%減)
	回数	17	29	75	62	56	97	96	37	38	47	39	63	50	(20.6%減)
計	人数	19	29	62	58	58	63	84	43	40	65	44	63	52	(6.3%減)
	回数	25	52	116	115	102	128	141	62	68	85	61	79	74	(17.5%減)

- ・ 捜査機関等からの照会に協力している。

照会の状況 (単位:件)

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
中央病院	警察・検察・裁判所	137	149	179	244	255	227	280	320	254	131	115	119	139	107	111	(3.7%増)
	その他機関	20	7	10	14	17	14	14	19	17	7	5	5	13	7	8	(14.3%増)
計		157	156	189	258	272	241	294	339	271	138	120	124	151	114	119	(4.4%増)
北病院	警察・検察・裁判所	20	21	38	22	20	34	31	63	45	11	20	22	38	25	25	(増減なし)
	その他機関	0	0	0	0	2	0	2	1	1	2	0	0	0	1	0	(皆減)
計		20	21	38	22	22	34	33	64	46	13	20	22	38	26	25	(3.8%減)

※H22,H23:書類がなく件数不明

- ・ 警察の扱う検視業務において、死因究明に最も有効である画像診断に協力している。

検体(死体)の放射線撮影の状況 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
撮影数	12	27	20	62	63	93	95	90	82	14	44	37	33	28	13	(53.6%減)

- ・ 平成27年10月に始まった医療事故調査制度で、中小病院や診療所では自院だけで調査することは難しいため、医療事故調査等支援団体として、医療事故が起きた医療機関の調査を死亡時画像診断で支援する体制をとっている。制度開始から令和元年9月末までに支援依頼はない。

- ・ 北病院では、看護職員が高校や市町村等の要望に応え、こころの健康教室や出前授業を行っている。

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項  
5 災害時における医療救護

5 災害時における医療救護  
災害時における県民の生命・安全を守るため医療救護活動の拠点機能を担うとともに、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。  
(1) 医療救護活動の拠点機能  
日頃から災害等に対する備えに努め、大規模災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。  
(2) 他県等の医療救護への協力  
他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力すること。

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況
<p>5 災害時における医療救護 県立の病院として、日頃から災害発生時における適切な医療救護活動が実施できるよう訓練するとともに、災害時においては、山梨県地域防災計画（大規模災害時医療救護マニュアル）に基づき、迅速な医療救護活動に取り組む。</p> <p>(1) 医療救護活動の拠点機能 大規模災害を想定したトリアージ訓練などを定期的に行うとともに、災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。</p> <p>(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMAT等を派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。</p>	<p>5 災害時における医療救護</p> <p>(1) 医療救護活動の拠点機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害を想定したトリアージ訓練などを行う。</li> <li>災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。また、県内外の被災地域において、被災者や支援者に対して精神保健医療活動を行うことにより、災害時の心のケアの充実を図るため、山梨県の災害派遣精神医療チーム（山梨DPAT）を派遣する。</li> </ul> <p>(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMAT等を派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年10月2日に予定していた大規模災害時対応訓練が台風の影響で12月14日に延期となった。今回の訓練は、前日の夜8時に山梨県南部で地震が発生したことを想定して実施することとしている。 (参加者予定者) 職員（医師、看護師、事務等） 約340人 ボランティア 約60人</li> <li>ドクターヘリの効率的な運航を図るため、県が当院内に整備を進めていた給油基地が平成30年1月に完成し、給油時間の短縮が図られている。</li> <li>平成30年3月に大規模災害が発生した際、山梨県知事の要請に応じて、被災地域で精神科医療の提供や精神保健活動を行う北病院の精神医療チーム（DPAT）を派遣する協定を山梨県と締結した。平成30年度は、DPAT隊員の研修・演習に医師2人、看護師3人、ロジ6人（臨床心理士2人、事務4人）が参加した。</li> <li>令和元年9月に発生した台風15号により大きな被害を受けた千葉県「亀田総合病院」に、当院の看護師3名及び事務職員1名を「災害支援研修」の名目で派遣した。</li> <li>令和元年10月に発生した台風19号により大きな被害を受けた長野県へ、中央病院のDMAT6名（医師2名、看護師2名、業務調整員2名）を派遣した。</li> <li>本年度のDMAT隊員として、医師11人、看護師14人、業務調整員7人（薬剤1人、放射線1人、検査2人、リハビリ1人、PSW1名、事務1人）を確保し、様々な防災訓練に参加している。</li> <li>県内の消防本部で実施している災害訓練にドクターヘリが参加している。 10月29日 都留市・大月市・上野原市消防署合同訓練 11月25日 山梨県消防防災ヘリコプター訓練</li> <li>北病院では、DPAT先遣隊員として、医師1人、看護師2人、臨床心理士1人を確保し、隊員登録に必要な研修に参加した。 7月13～15日 災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊研修（DPAT事務局開催）（於：東京都晴</li> </ul>



業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築

中期目標

1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築

県立病院機構に求められる医療を確実に提供するため、医療を取り巻く環境の変化に的確に対応できる運営体制を構築すること。

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																				
<p>1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築</p> <p>医療ニーズの多様化、高度化、患者動向など、医療を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、職員を機動的に配置するとともに、医療及び病院経営に関する情報を分析し、その分析結果を活用することで、医療環境の変化に対応できる運営体制の構築に努める。</p>	<p>1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、職員の機動的配置に努める。</li> <li>医療及び病院経営に関する情報を分析し、その分析結果を活用することで、医療環境の変化に対応できる運営体制の構築に努める。</li> <li>県民に質の高いがんゲノム医療を提供するため、がんゲノム医療拠点病院の指定に向けた体制を整備する(再掲)。</li> <li>また、がんゲノム医療拠点病院では、臨床検査を適切に実施するために第三者認定を受けることが必要と見込まれることから、大型検査機器を最新の機種に更新し、検体検査、病理検査及びゲノム検査について、ISO15189(臨床検査室の品質と能力に関する特定要求事項に関する国際規格)認定のための審査を受審する。</li> <li>平成29年度に設置した、肝胆膵・消化器病センター及び循環器病センターにおいて、内科と外科が一体となった治療を実施する(再掲)。</li> <li>中長期の医療需要を見極め、中央病院、北病院が提供すべき医療について調査・研究を進め、長期の課題は次期中期計画に反映させる。</li> </ul> <p>(中央病院検討事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査待ち時間解消に向け、検査時間の短縮が実現できる最新のX線CT装置の導入など放射線機器の整備</li> <li>大動脈ステントグラフト、径カテーテル大動脈弁置換術など心臓に係る先進的な手技を迅速かつ安全に実施する、手術室と心・脳血管X線撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室の整備及び心臓センターの設置</li> <li>平成30年度の診療報酬改定において胃がんをはじめ多くのロボット手術が保険収載されるなど、今後拡大が見込まれる手術支援ロボット「ダヴィンチ」手術に対応した環境の整備</li> <li>適切な医療を提供するため、眼科外来において白内障の日帰り手術が可能となる手術室の整備など外来機能の拡充</li> <li>人工知能(AI)を活用した先進的かつ革新的医療へ対応できる体制の構築</li> </ul> <p>(北病院検討事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者に対する身体合併症に対応できる体制整備</li> <li>建物再整備薬物依存症、ギャンブル依存症、ゲーム障害等への治療プログラム開発(再掲)</li> <li>県内における治療抵抗性統合失調症治療の普及、啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬の迅速かつ適正な算定を行うため、平成30年度は診療報酬担当9名、DPC担当23名、DC担当27名、診療情報管理担当9名体制で業務に取り組んでいる。(R1.12.1現在)</li> <li>中央病院の「病院会議」、北病院の「院内連絡会議」において、病院全体の情報交換や意見交換、共通認識の醸成を行い、各科の入院、外来の稼働額を前年同期と比較図示化し、前年同月の稼働減額の科については、その要因を探り、対策を立てることにより、医療環境の変化に対応できる運営体制の構築に努めている。</li> </ul> <p>【中央病院】</p> <p>会議名 病院会議(月1回開催)</p> <p>構成メンバー 理事長、院長、副院長、事務局長、看護局長、統括部長、部長、副部長、主任看護師長、技師長、事務局課長及び担当リーダー等</p> <p>定員 145人</p> <p>内容 病院の医療提供状況、経営状況等の周知、経営分析や経営改善に向けた協議、研究発表等</p> <p>【北病院】</p> <p>会議名 院内連絡会議(月1回開催)</p> <p>構成メンバー 院長、副院長、事務局長、社会生活支援部長、医療部長、看護部長、副看護部長、薬剤師長、栄養士長、主任臨床検査技師、社会生活支援部各室長及び担当リーダー、事務局課長及び担当リーダー等</p> <p>定員 25人(代理出席を含め、出席率は100%)</p> <p>内容 病院に関する諸問題について、課題の検討、経営分析や経営改善に向けた協議、各セクションからの状況報告等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院の「病院会議」には第2部を設けており、各診療科の診療内容、治療成績、最近のトピック、今後の展望など各科の特色の相互理解を深め、かつ、今後の医療に関する調査・研究課題を探索している。</li> </ul> <p>病院会議第2部発表の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月 研修医・専攻医・専修医</td> <td>専修医・専攻医・研修医紹介</td> </tr> <tr> <td>6月 新採用職員</td> <td>新採用職員紹介</td> </tr> <tr> <td>7月 小児循環器病センター</td> <td>小児循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>8月 -</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>9月 がん支援センター</td> <td>がん支援センターについて</td> </tr> <tr> <td>10月 精神科</td> <td>精神身体合併症病棟について</td> </tr> <tr> <td>11月 消化器病センター</td> <td>消化器病センターについて</td> </tr> <tr> <td>12月 臨床研修センター</td> <td>臨床研修センターについて</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年10月から、中央病院の「病院会議」において院内全体の取り組みとするため、各部署の優れた独自の業務改善取り組み事例を発表している。</li> </ul> <p>業務改善取り組み事例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月 -</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>6月 薬剤部</td> <td>薬剤部の機能強化 ～服薬指導とギャップ解消～</td> </tr> <tr> <td>7月 看護局</td> <td>DINQLデータと誤投薬ゼロを目指して</td> </tr> <tr> <td>8月 医事課</td> <td>DC活用による業務改善</td> </tr> <tr> <td>9月 入退院センター・薬剤部</td> <td>入退院センター開設～現在 看護師・薬剤師の役割</td> </tr> <tr> <td>10月 1C病棟</td> <td>亀田総合病院への看護師・ロジ支援チーム活動報告</td> </tr> <tr> <td>11月 ゲノム解析センター</td> <td>いよいよ始まるがんゲノム医療</td> </tr> <tr> <td>12月 医事課</td> <td>診断群別在院日数とパスの有無</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>次期中期計画における建設改良費の用途について、心臓センター機能の充実、放射線機器導入等とする方向で議論を行った。</li> </ul>	発表者	内容	5月 研修医・専攻医・専修医	専修医・専攻医・研修医紹介	6月 新採用職員	新採用職員紹介	7月 小児循環器病センター	小児循環器病センター	8月 -	-	9月 がん支援センター	がん支援センターについて	10月 精神科	精神身体合併症病棟について	11月 消化器病センター	消化器病センターについて	12月 臨床研修センター	臨床研修センターについて	発表者	内容	5月 -	-	6月 薬剤部	薬剤部の機能強化 ～服薬指導とギャップ解消～	7月 看護局	DINQLデータと誤投薬ゼロを目指して	8月 医事課	DC活用による業務改善	9月 入退院センター・薬剤部	入退院センター開設～現在 看護師・薬剤師の役割	10月 1C病棟	亀田総合病院への看護師・ロジ支援チーム活動報告	11月 ゲノム解析センター	いよいよ始まるがんゲノム医療	12月 医事課	診断群別在院日数とパスの有無
発表者	内容																																					
5月 研修医・専攻医・専修医	専修医・専攻医・研修医紹介																																					
6月 新採用職員	新採用職員紹介																																					
7月 小児循環器病センター	小児循環器病センター																																					
8月 -	-																																					
9月 がん支援センター	がん支援センターについて																																					
10月 精神科	精神身体合併症病棟について																																					
11月 消化器病センター	消化器病センターについて																																					
12月 臨床研修センター	臨床研修センターについて																																					
発表者	内容																																					
5月 -	-																																					
6月 薬剤部	薬剤部の機能強化 ～服薬指導とギャップ解消～																																					
7月 看護局	DINQLデータと誤投薬ゼロを目指して																																					
8月 医事課	DC活用による業務改善																																					
9月 入退院センター・薬剤部	入退院センター開設～現在 看護師・薬剤師の役割																																					
10月 1C病棟	亀田総合病院への看護師・ロジ支援チーム活動報告																																					
11月 ゲノム解析センター	いよいよ始まるがんゲノム医療																																					
12月 医事課	診断群別在院日数とパスの有無																																					

業務運営の改善及び効率化に関する事項

2 効率的な業務運営の実現

中期目標 2 効率的な業務運営の実現

県立病院機構が有する人的、物的資源の有効活用や業務の見直しを行い、効率的な業務運営の実現を図ること。

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																								
<p>2 効率的な業務運営の実現 委託業務の適正化の検討や職員のプロパー化等による簡素で効率的な運営体制を構築し、全職員が一丸となって、医療サービスの向上と経営改善に取り組む。</p>	<p>2 効率的な業務運営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な外部委託を継続するため、委託の是非や質に関して検討する委員会を設置し、業務内容の課題発見や改善を随時行うよう努める。</li> <li>医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などを踏まえ、必要に応じて職員を採用するとともに、法人内における弾力的な配置を進める。</li> <li>器械備品の保守料を削減するため、器械備品の更新、増設時に備品購入費だけでなく保守料を含めたトータルの費用により入札を実施する。 また、約60種類ある放射線機器の保守契約を一括して締結することにより、経費削減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約更新の際には、契約方法、契約内容の見直しを行い、委託業務の適正化に努めている。 平成28年度から、適正な外部委託とするため、情報システムの保守、病棟クラーク業務の内製化を行い、業務の効率化を図っている。</li> <li>医療機器等の保守に関する委託契約については、作業員の人工数、交換部品等について業務日誌等を詳細に分析し、契約内容の妥当性について検討するとともに、以後の契約に反映させるよう取り組んでいる。</li> <li>器械備品の保守料を削減するため、平成29年度から1,000万円以上の器械備品を更新、増設する際には、備品購入費だけでなく保守料を含めたトータルの費用により入札を実施した。また、平成30年度からは1,000万円以下の器械備品にも対象を拡大し、上期は1件の入札を実施した。</li> <li>中央病院で11月に実施した「手術用ナビゲーションシステム」調達の際に、プロポーザル方式を採用した結果、経費の大幅な削減を実現できた。</li> <li>年度途中に看護師、医師事務補助者等の採用を行い、必要な部門に弾力的に配置している。</li> </ul> <p>看護師(正規職員)の中途採用の状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1.9末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療事務補助職員の状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1.9末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>52 (4.0%増)</td> </tr> <tr> <td>DPC</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>DC</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>診療報酬</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末	7月		5	3	2	2	3	5	2	2	3	8月	2	3					1		1		10月	2			5		2			1	1	11月					2		1				12月				1							1月		2	4								計	4	10	7	8	4	5	7	2	4	4		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末	職員数	19	22	31	39	46	50	52 (4.0%増)	DPC	0	0	0	20	18	16	16	DC	-	-	-	-	-	26	26	診療情報管理	16	13	15	16	25	6	8	診療報酬	3	9	16	3	3	2	4
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末																																																																																																																																
7月		5	3	2	2	3	5	2	2	3																																																																																																																																
8月	2	3					1		1																																																																																																																																	
10月	2			5		2			1	1																																																																																																																																
11月					2		1																																																																																																																																			
12月				1																																																																																																																																						
1月		2	4																																																																																																																																							
計	4	10	7	8	4	5	7	2	4	4																																																																																																																																
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末																																																																																																																																			
職員数	19	22	31	39	46	50	52 (4.0%増)																																																																																																																																			
DPC	0	0	0	20	18	16	16																																																																																																																																			
DC	-	-	-	-	-	26	26																																																																																																																																			
診療情報管理	16	13	15	16	25	6	8																																																																																																																																			
診療報酬	3	9	16	3	3	2	4																																																																																																																																			



業務運営の改善及び効率化に関する事項

3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減

中期目標

3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減

質の高い医療を提供するため、診療報酬改定への適切な対応や料金の定期的な見直しなど、経営基盤を安定化するための収入の確保に努めるとともに、業務運営の改善及び効率化を検討する中で、費用の節減に努めること。

中期計画	年度計画
<p>3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減</p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化 診療報酬事務職員の専門研修の実施やプロパー化等により、診療報酬部門の強化を図り、診療報酬改定に迅速かつ適切に対応することができる人員体制や院内の連携体制を構築するとともに、レセプト請求の迅速化及び減点防止を徹底するなど診療報酬請求事務の強化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し 診療報酬基準以外の料金については、新規需要等を的確に捉え、随時適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策 患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の適正化 後発医薬品の採用を推進するとともに、診療材料の購入にあたりその費用対効果を十分に検証するなど、材料費の適正化に努める。</p>	<p>3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減</p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化 ・ 診療報酬事務職員の専門研修の実施やプロパー化等により、診療報酬部門の強化を図る。 ・ 診療報酬改定に迅速かつ適切に対応することができる人員体制や院内の連携体制を構築する。 ・ レセプト請求の迅速化や減点を防止するために導入したレセプトチェックシステムを有効に活用することにより、さらなる請求事務の適正化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し 診療報酬基準以外の料金について、新規需要等を的確に捉え、随時適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策 患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の適正化 ・ 材料の新規採用にあたり、院内の関係者で構成される院内委員会により効能・効果等の必要性及びコストを比較し、適正な選択を行う。また、後発医薬品の採用、同種同等品への切替等による材料費の適正化に努めるとともに、共同購入を行う選定品を追加し更なるコスト削減に取り組む。 ・ 院内各水道蛇口に節水装置を設置し、水道料金の削減を図る。 ・ 院内暖房設備にインバーター制御機能を導入し、電気料金の削減を図る。</p>

令和元年度上半期 業務実施状況

・ 診療報酬の迅速かつ適正な算定を行うため、柔軟な人員配置などにより、診療報酬請求体制の強化を図っている。また、診療報酬適正化に向けたDPC担当を新設し、病棟クラーク業務及び医師等に対して、診療報酬制度の周知・啓発に努めている。

医療事務補助職員の状況 (単位:人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.9末
職員数	19	22	31	39	46	50	52 (4.0%増)
DPC	0	0	0	20	18	16	16
DC	-	-	-	-	-	26	26
診療情報管理	16	13	15	16	25	6	8
診療報酬	3	9	16	3	3	2	4

・ 平成27年10月から患者サービスの向上と未収金対策として、新たに土曜日、日曜日などの休日に退院する患者に対して、退院までに請求を行う即日請求の取り組みを開始した。即日請求率は、前年同期と比べて3.4ポイント増の65.5%となっている。

退院患者の即日請求率

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
即日請求率	42.8%	47.4%	52.6%	55.6%	67.5%	64.10%	51.4%	52.5%	66.3%	65.8%	62.1%	65.5% (3.4ポイント増)

・ 未収患者に対する初期対応を強化するため、平成27年6月から納入通知書及び督促状を早期に送付している。また、入院申込時に未収金がある患者に対しては、面談により支払い方法等の確認を実施するとともに、発生から4ヵ月経過時の督促にもかかわらず、納付のない者へは連帯保証人への請求も開始するなど、徴収方法の強化を図っている。

・ 発生から1年以上の債権については、弁護士事務所に回収を委託している。

未収患者への請求状況

	平成27年5月以前	平成27年6月以降	平成28年9月以降	平成31年1月以降
納入通知書 1回	月末〆~1週間内	半月〆~1週間内	半月〆~1週間内	半月〆~1週間内
納入通知書 2回	-	-	2ヵ月後	2ヵ月後
督促状 1回	6(~8)ヵ月後	3(~5)ヵ月後	4(~5)ヵ月後	4ヵ月後
督促状 2回	9(~11)ヵ月後	6(~8)ヵ月後	6(~7)ヵ月後	6ヵ月後
督促状 3回	11(~13)ヵ月後	11(~13)ヵ月後	9(~12)ヵ月後	8ヵ月後

弁護士への未収金回収委託の状況 (単位:万円)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期
中央病院	22,284	29,259	31,302	24,762	28,450	33,021	34,679	38,254	39,695	26,519	31,061	33,021	36,486	38,254	40,910 (6.9%増)
委託債権	778	962	85	2,377	2,390	2,032	1,044	1,789	766	1,320	951	640	1,007	408	366 (10.3%減)
回収率	3.5%	3.3%	0.3%	9.6%	8.4%	6.2%	3.0%	4.7%	1.9%	5.0%	3.1%	1.9%	2.8%	0	0.9% (0.2ポイント減)
北病院	-	-	-	-	1,429	1,486	1,628	1,668	1,920	1,486	1,486	1,666	1,726	1,920	1,920 (11.2%増)
委託債権	-	-	-	-	54	101	100	156	84	49	55	64	55	79	79 (43.6%減)
回収率	-	-	-	-	3.8%	6.8%	6.1%	9.4%	4.4%	3.3%	3.7%	3.8%	3.2%	4.1%	4.1% (0.9ポイント増)

・ 未収金対策や、連帯保証人の確保が困難な患者への選択肢として、一定の役割・需要があるため、「連帯保証人代行制度」を平成29年9月から導入している。

- ・ 休日に退院する患者や県外の患者の利便性を高めるため、コンビニエンスストアで24時間支払うことができる「コンビニ収納」を平成27年10月から導入している。
- ・ 材料を新規採用する際には、委員会において、必要性や費用対効果を競合品等と比較検討した上で決定している。

材料の新規採用の状況

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:件)
診療材料	申請	221	249	222	188	216	189	145	105	116	113	116	74	62	34	56	(64.7%増)
	採用	200	229	206	164	185	145	112	97	41	98	89	60	54	29	51	(96.2%増)
薬品	申請	92	92	82	65	102	93	118	121	128	48	49	54	51	64	93	(45.3%増)
	採用	89	83	61	51	88	78	103	98	119	46	41	49	41	58	75	(29.3%増)

※ジェネリック除く

- ・ 中央病院において、共同購入組織である日本ホスピタルアライアンス（NHA）に平成28年4月から加盟し、汎用医療材料などの9分野の購入事業に参加している。令和元年度上期は、診療材料分野において4,061万円程度の削減を図ることができた。

NHA加盟による主な医療材料(選定品)削減効果

		H28				H29				H30				R1上期				(単位:万円)
		購入額全体	選定品購入額	削減額	削減割合	購入額全体	選定品購入額	削減額	削減割合	購入額全体	選定品購入額	削減額	削減割合	購入額全体	選定品購入額	削減額	削減割合	
汎用品	61,940	14,040	850	6.1%	60,504	25,298	3,747	14.8%	62,817	31,692	6,209	19.5%	37,852	14,079	3,589	25.4%		
循環器	36,759	11,400	642	5.6%	41,643	13,540	730	5.3%	57,348	21,120	1,325	6.2%	22,358	7,761	226	2.9%		
整形	26,684	8,500	358	4.2%	19,911	9,904	326	3.2%	19,785	12,618	326	2.5%	10,417	6,103	246	4.0%		
合計	125,383	33,940	1,850	5.5%	122,058	48,742	4,803	7.7%	139,950	65,430	7,860	9.4%	70,627	27,943	4,061	10.7%		

- ・ 薬品については、ベンチマークや自治体病院の全国平均値引率等を参考に目標引率を設定し価格交渉を実施するなど、経費削減に取り組んでいる。

薬品値引率の状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(0.4ポイント減)
当院	11.0%	14.7%	12.6%	14.0%	14.5%	14.2%	14.2%	15.1%	13.7%	13.1%	14.8%	13.5%	15.2%	13.5%	13.1%	
自治体病院平均	12.0%	13.2%	11.6%	12.5%	13.9%	14.6%	14.1%	14.6%	12.8%	12.8%	14.4%	13.2%	14.5%	12.2%	12.9%	

- ・ 後発医薬品採用数は、前年同期と比べて0.9%増の665品目、後発医薬品購入割合は、0.4ポイント減の10.8%となった。また、DPCの評価項目である後発医薬品指数（前年度10月～当該年度9月までの年平均値）は、評価上限となる60%を大幅に上回る97.2%となっている。

※ 後発医薬品指数とは、DPCにおける後発医薬品の使用割合（数量シェア）に対する評価基準

後発医薬品の状況

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:品目)
増加数	15	15	18	4	72	243	57	93	45	66	66	53	55	50	4	(50.7%増)	
後発医薬品数	116	131	147	151	223	466	523	616	661	217	276	521	573	659	665	(0.9%増)	
後発医薬品指数	—	—	29.6%	30.8%	62.2%	85.4%	93.1%	94.4%	96.9%	56.0%	67.9%	92.3%	94.9%	96.9%	97.2%	(0.3ポイント増)	

\* 準先発薬(昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品)を含む。

医薬品及び後発品購入推移

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	(単位:万円)
医薬品購入額	244,771	236,032	250,682	268,121	281,298	312,404	348,179	378,825	402,537	127,308	153,092	161,369	184,836	199,109	237,863	(19.46%増)	
後発品購入額	9,026	11,958	16,501	18,236	20,001	29,474	40,233	38,819	42,342	9,221	12,961	19,702	19,630	22,220	25,564	(15.65%増)	
後発品購入割合	3.69%	5.07%	6.58%	6.80%	7.11%	8.82%	11.56%	10.25%	10.52%	7.2%	8.5%	12.2%	10.6%	11.2%	10.8%	(0.4ポイント減)	

※ソバルディン・ハーボニー・オブジーボ・キイトルーダ除く

業務運営の改善及び効率化に関する事項

4 事務部門の専門性の向上

中期目標

4 事務部門の専門性の向上

県立病院機構が行う業務に必要な法令、会計、診療報酬体系等に精通した事務職員を育成し、事務部門の専門性を向上させることにより、県立病院機構の運営が円滑に行われるよう努めること。

中 期 計 画	年 度 計 画	令和元年度上半期 業務実施状況																																	
<p>4 事務部門の専門性の向上 医療事務に精通したプロパー職員の採用や事務職員に必要な知識の習得のための研修の実施など、県立病院機構が行う業務に必要な法令、会計、診療報酬体系等に精通した事務職員の育成に努める。</p>	<p>4 事務部門の専門性の向上 医療事務に精通したプロパー職員の採用や事務職員に必要な知識の習得のための研修の実施など、県立病院機構が行う業務に必要な法令、会計、診療報酬体系等に精通した事務職員の育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の病院経営管理部門の職員を計画的に育成するため、平成29年度においても病院機構事務職員採用試験を実施し、令和2年度に事務職2人を採用することとしている。</li> <li>令和元年度は事務職員1人のプロパー化を行った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務職員採用数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>(うちプロパー化)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R2は募集人数(採用試験を実施中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月の新規採用職員研修において、診療報酬等に係る研修を実施した。また、機構職員のプロパー職員として必要な知識習得できるよう、職種横断的な研修を実施している。</li> </ul>		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計	事務職員採用数	2	3	9	3	7	5	5	5	2	41	(うちプロパー化)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	13
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計																									
事務職員採用数	2	3	9	3	7	5	5	5	2	41																									
(うちプロパー化)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	13																									

業務運営の改善及び効率化に関する事項

5 職員の経営参画意識の向上

5 職員の経営参画意識の向上

職員が、定款に定められた目的、中期目標、中期計画等に掲げる取り組みを共有し、責任感や使命感を持って病院経営に積極的に参画するとともに、職員が協力し、業務改善を推進する体制を構築すること。

中 期 計 画	年 度 計 画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																
<p>5 職員の経営参画意識の向上</p> <p>(1) 経営関係情報等の周知 医療及び病院経営に関する情報を分析し、その分析結果をわかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。</p> <p>(2) 取組の共有化 中期計画等に掲げる取組について、病院全体で共通認識をしたうえ、その取組状況の共有を図る。</p> <p>(3) 職員提案の奨励 職員の病院経営に対する参画意識や目標達成に向けた意欲を高めるため、職員提案を奨励し、提案された内容について、真摯に検討をしていく。</p>	<p>5 職員の経営参画意識の向上</p> <p>(1) 経営関係情報等の周知 メディカルコードの活用や日本病院会のQIプロジェクトへの参加等により医療及び病院経営に関する情報を分析し、その分析結果をわかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。 また、診療報酬上の加算について、導入、拡大できる項目の分析を進め、その可否について検討を行う。</p> <p>(2) 取組の共有化 中期計画等に掲げる取組について、病院全体で共通認識をしたうえ、その取組状況の共有を図る。</p> <p>(3) 職員提案の奨励 職員の病院経営に対する参画意識や目標達成に向けた意欲を高めるため、職員提案を奨励し、提案された内容の実現について、真摯に検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央病院の「病院会議」、北病院の「院内連絡会議」において、病院全体の情報交換や意見交換、共通認識の醸成を行い、各科の入院、外来の稼働額を前年同期と比較図示化し、前年同月の稼働減額の科については、その要因を探り、対策を立てることにより、職員の経営参画意識を高めている。 また、この両病院の会議で、中期計画等について説明し、共通認識を持って、日々の業務に取り組んでいる。</li> <li>中央病院では診療の質を知り、経時的に改善することを目的とし、医療の質を測定、評価、公表するための指標の検討とPDCAサイクルを病院の運営管理の手法に組み込むことを促す日本病院会のQIプロジェクトに参加している。</li> <li>職員が病院経営について自由に提案する職員提案の募集を行った。平成26年度からは、プロジェクト“KAIZEN”とプロジェクト“坂の上の雲”の2部門で募集を行っている。提案件数は30件であった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位:件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案数</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>86</td> <td>28</td> <td>44</td> <td>23</td> <td>46</td> <td>30</td> <td>(34.8%減)</td> </tr> <tr> <td>表彰数</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実現数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※実現数は、各年度の表彰数のうち、R1年度9月末までに実現した数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度新設した通年型の職員提案制度を継続して実施し、患者サービスの向上、事故防止、事務の合理化等に関する意見の募集を行っている。</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		提案数	43	39	30	18	86	28	44	23	46	30	(34.8%減)	表彰数	4	6	3	2	8	4	3	3	3	-		実現数	2	4	3	0	2	-	2	-	-	-	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																								
提案数	43	39	30	18	86	28	44	23	46	30	(34.8%減)																																							
表彰数	4	6	3	2	8	4	3	3	3	-																																								
実現数	2	4	3	0	2	-	2	-	-	-																																								

業務運営の改善及び効率化に関する事項

6 職場環境の整備

中期目標 6 職場環境の整備

医

中期計画	年度計画	令和元年度上半期 業務実施状況																																																							
<p>6 職場環境の整備</p> <p>(1) 働きやすい職場環境の整備 各現場における医療従事者の配置及び勤務状況を把握するとともに、医療従事者が安心して働くことができるよう、仕事と生活の調和の取れた職場環境の整備に努める。</p> <p>(2) 資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るため、資格取得を含む研修を充実する。</p> <p>(3) 公平で客観的な人事評価システムの導入 職員の業績や能力を、給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理に活用するための簡素で公平な人事評価制度を構築する。</p>	<p>6 職場環境の整備</p> <p>(1) 働きやすい職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい職場環境の実現に向け、各現場における職員の感想や意見をよりの確に把握するため、職員満足度調査を実施する。</li> <li>労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施するとともに、職員の働きやすい職場環境の整備に努める。</li> <li>衛生管理者及び産業医による院内の定期巡視を実施し、安全衛生上の課題を指摘し改善を図っていく。を行っていく。</li> <li>職員の心身の健康を維持するため、夏季休暇を取得可能な期間を拡大し、休暇を取得しやすい環境を整備する。</li> <li>増え続ける二次救患者に対応するため、二次救急当番日の負担軽減について、県及び他の医療機関との協議会の場で働きかけを行っていく。</li> <li>職員の心身の健康を維持するため、昨年度、夏季休暇取得可能な期間を2か月延長したが、平成31年度はさらに2か月延長し、5月から11月までの間取得可能とする。また、休暇を取得しやすい環境を整備するとともに、時間外勤務縮減に向けた取り組みを推進する。 さらに、中央病院内に健康管理室を新設し、職員の健康指導や健康相談等を実施する。</li> </ul> <p>(2) 資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るため、資格取得を含む研修を充実する。 また、医療技術職員等の技術向上を図るため、国内職員相互研修制度を積極的に活用する。</p> <p>(3) 公平で客観的な人事評価システムの導入 平成30年度に導入した人事評価制度を活用し、業績や能力を給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職をはじめとするシフト制で業務に従事する医療職員の出産や育児に伴う離職防止、また育児休業取得後の職場への円滑な復帰を図るため、平成25年度に託児所を開設した。また、当該職員の子どもが病気の急性期または回復期にある場合に、職員が安心して職務に専念できるよう、病児・病後児保育所を平成29年4月に開設した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>院内託児所利用者数 (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29上期</th> <th>H30上期</th> <th>R1上期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常保育</td> <td>27</td> <td>40</td> <td>49</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>77</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>(12.8%減)</td> </tr> <tr> <td>一時保育</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>59</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>(増減なし)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>77</td> <td>91</td> <td>88</td> <td>136</td> <td>73</td> <td>63</td> <td>58</td> <td>(13.6%減)</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>29</td> <td>108</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>99</td> <td>(80.0%増)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の心身の健康を維持するため、平成31年4月から中央病院に「健康管理室」を新設し、専従の保健師を配置している。また、衛生管理者による職場巡視を毎週実施するとともに、産業医による職場巡視も月に1回実施している。</li> <li>労働安全衛生法に基づくストレスチェックを年1回実施し、高ストレスと評価された職員から申し出があった場合には、医師が面談指導する体制を整えている。また、令和元年度は、職員の回答率を100%とするための取り組みを行い、結果として回答率は95.2%となっている。</li> <li>労働安全委員会を毎月開催し、職員の時間外勤務の状況や勤務体制・環境の改善に向けた取り組み等について検討を重ねている。</li> <li>職員のワークライフバランスの推進と働きやすさ向上ため、平成30年度夏季休暇の取得可能な期間を2か月拡大したが、平成31年度はさらに2か月拡大し5月～11月に取得可能としている。</li> <li>職員の能力や業務の実績を適切に評価し、その結果を人材育成や人事管理、給与等の基礎資料として活用するため、人事評価制度を構築し、平成30年10月より開始している。</li> <li>北病院では、看護職員のワーク・ライフ・バランス推進の取り組みとして、インデックス調査を実施した。</li> </ul>		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H29上期	H30上期	R1上期		通常保育	27	40	49	61	55	77	46	39	34	(12.8%減)	一時保育	38	30	28	30	33	59	27	24	24	(増減なし)	計	65	70	77	91	88	136	73	63	58	(13.6%減)	病児・病後児保育	-	-	-	-	29	108	57	55	99	(80.0%増)
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H29上期	H30上期	R1上期																																																
通常保育	27	40	49	61	55	77	46	39	34	(12.8%減)																																															
一時保育	38	30	28	30	33	59	27	24	24	(増減なし)																																															
計	65	70	77	91	88	136	73	63	58	(13.6%減)																																															
病児・病後児保育	-	-	-	-	29	108	57	55	99	(80.0%増)																																															

中期目標の各期間における経常利益については、安定的な水準を維持し、経営基盤の安定化に努めること。

中期計画	年度計画																																																																																																																				
<p>第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」を着実に実施することにより、経営基盤の安定化を図り、中期目標期間内の累計の経常収支を黒字とする。</p> <p>1 予算（平成27年度～平成31年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>111,461</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>92,999</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>17,154</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>1,308</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>2,081</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>1,171</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>910</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>5,576</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>5,576</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>119,118</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>95,713</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>94,870</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>45,352</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>31,144</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>17,838</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>536</td></tr> <tr><td>    一般管理費</td><td>843</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>1,701</td></tr> <tr><td>  資本支出</td><td>23,879</td></tr> <tr><td>    建設改良費</td><td>9,809</td></tr> <tr><td>    償還金</td><td>14,070</td></tr> <tr><td>  その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>121,293</td></tr> </tbody> </table> <p>【人件費の見積り】 期間中総額46,015百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p> <p>【運営費負担金のルール】 救急医療等の政策医療経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。 長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。</p>	区分	金額	収入		営業収益	111,461	医業収益	92,999	運営費負担金	17,154	その他営業収益	1,308	営業外収益	2,081	運営費負担金	1,171	その他営業外収益	910	資本収入	5,576	運営費負担金	0	長期借入金	5,576	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	119,118	支出		営業費用	95,713	医業費用	94,870	給与費	45,352	材料費	31,144	経費	17,838	研究研修費	536	一般管理費	843	営業外費用	1,701	資本支出	23,879	建設改良費	9,809	償還金	14,070	その他の支出	0	計	121,293	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（令和元年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>27,435</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>23,853</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>3,256</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>326</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>340</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>142</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>198</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>1,117</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>1,117</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>28,892</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>24,255</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>24,139</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>11,238</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>8,966</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>3,767</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>168</td></tr> <tr><td>    一般管理費</td><td>116</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>203</td></tr> <tr><td>  資本支出</td><td>5,072</td></tr> <tr><td>    建設改良費</td><td>2,566</td></tr> <tr><td>    償還金</td><td>2,506</td></tr> <tr><td>  その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>29,530</td></tr> </tbody> </table> <p>【人件費の見積り】 期間中総額11,312百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p> <p>【運営費負担金のルール】 救急医療等の政策医療経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。 長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。</p>	区分	金額	収入		営業収益	27,435	医業収益	23,853	運営費負担金	3,256	その他営業収益	326	営業外収益	340	運営費負担金	142	その他営業外収益	198	資本収入	1,117	運営費負担金	0	長期借入金	1,117	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	28,892	支出		営業費用	24,255	医業費用	24,139	給与費	11,238	材料費	8,966	経費	3,767	研究研修費	168	一般管理費	116	営業外費用	203	資本支出	5,072	建設改良費	2,566	償還金	2,506	その他の支出	0	計	29,530
区分	金額																																																																																																																				
収入																																																																																																																					
営業収益	111,461																																																																																																																				
医業収益	92,999																																																																																																																				
運営費負担金	17,154																																																																																																																				
その他営業収益	1,308																																																																																																																				
営業外収益	2,081																																																																																																																				
運営費負担金	1,171																																																																																																																				
その他営業外収益	910																																																																																																																				
資本収入	5,576																																																																																																																				
運営費負担金	0																																																																																																																				
長期借入金	5,576																																																																																																																				
その他資本収入	0																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																				
計	119,118																																																																																																																				
支出																																																																																																																					
営業費用	95,713																																																																																																																				
医業費用	94,870																																																																																																																				
給与費	45,352																																																																																																																				
材料費	31,144																																																																																																																				
経費	17,838																																																																																																																				
研究研修費	536																																																																																																																				
一般管理費	843																																																																																																																				
営業外費用	1,701																																																																																																																				
資本支出	23,879																																																																																																																				
建設改良費	9,809																																																																																																																				
償還金	14,070																																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																																				
計	121,293																																																																																																																				
区分	金額																																																																																																																				
収入																																																																																																																					
営業収益	27,435																																																																																																																				
医業収益	23,853																																																																																																																				
運営費負担金	3,256																																																																																																																				
その他営業収益	326																																																																																																																				
営業外収益	340																																																																																																																				
運営費負担金	142																																																																																																																				
その他営業外収益	198																																																																																																																				
資本収入	1,117																																																																																																																				
運営費負担金	0																																																																																																																				
長期借入金	1,117																																																																																																																				
その他資本収入	0																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																				
計	28,892																																																																																																																				
支出																																																																																																																					
営業費用	24,255																																																																																																																				
医業費用	24,139																																																																																																																				
給与費	11,238																																																																																																																				
材料費	8,966																																																																																																																				
経費	3,767																																																																																																																				
研究研修費	168																																																																																																																				
一般管理費	116																																																																																																																				
営業外費用	203																																																																																																																				
資本支出	5,072																																																																																																																				
建設改良費	2,566																																																																																																																				
償還金	2,506																																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																																				
計	29,530																																																																																																																				

令和元年度上半期 業務実施状況																																																																																																																																																																															
<p>1 上期予算執行状況 ○年度計画との比較 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>RI上期執行額</th> <th>執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>13,283</td><td>48.4%</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>11,621</td><td>48.7%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>1,662</td><td>51.0%</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>81</td><td>23.8%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>81</td><td>40.9%</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td>13,364</td><td>46.3%</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>10,492</td><td>43.3%</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>10,449</td><td>43.3%</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>4,520</td><td>40.2%</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>4,606</td><td>51.4%</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>1,275</td><td>33.8%</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>48</td><td>28.6%</td></tr> <tr><td>    一般管理費</td><td>43</td><td>37.1%</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>86</td><td>42.4%</td></tr> <tr><td>  資本支出</td><td>1,413</td><td>27.9%</td></tr> <tr><td>    建設改良費</td><td>162</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>    償還金</td><td>1,251</td><td>49.9%</td></tr> <tr><td>  その他の支出</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,991</td><td>40.6%</td></tr> </tbody> </table>	区分	RI上期執行額	執行率	収入			営業収益	13,283	48.4%	医業収益	11,621	48.7%	運営費負担金	1,662	51.0%	その他営業収益	0	0.0%	営業外収益	81	23.8%	運営費負担金	0	0.0%	その他営業外収益	81	40.9%	資本収入	0	0.0%	運営費負担金	0	0.0%	長期借入金	0	0.0%	その他資本収入	0	0.0%	その他の収入	0	0.0%	計	13,364	46.3%	支出			営業費用	10,492	43.3%	医業費用	10,449	43.3%	給与費	4,520	40.2%	材料費	4,606	51.4%	経費	1,275	33.8%	研究研修費	48	28.6%	一般管理費	43	37.1%	営業外費用	86	42.4%	資本支出	1,413	27.9%	建設改良費	162	6.3%	償還金	1,251	49.9%	その他の支出	0	0.0%	計	11,991	40.6%	<p>○H30上期実績との比較 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30上期執行額</th> <th>増減額</th> <th>増減比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>280</td><td>2.2%</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>402</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>-122</td><td>-6.8%</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>64</td><td>26.6%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>64</td><td>26.6%</td></tr> <tr><td>  資本収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  その他の収入</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td>297</td><td>2.3%</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>616</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>613</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>231</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>357</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>31</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>-6</td><td>-11.1%</td></tr> <tr><td>    一般管理費</td><td>3</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>  資本支出</td><td>-197</td><td>-12.2%</td></tr> <tr><td>    建設改良費</td><td>30</td><td>22.7%</td></tr> <tr><td>    償還金</td><td>-227</td><td>-15.4%</td></tr> <tr><td>  その他の支出</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td>419</td><td>3.6%</td></tr> </tbody> </table>	H30上期執行額	増減額	増減比	収入			営業収益	280	2.2%	医業収益	402	3.6%	運営費負担金	-122	-6.8%	その他営業収益	0	0.0%	営業外収益	64	26.6%	運営費負担金	0	0.0%	その他営業外収益	64	26.6%	資本収入	0	0.0%	運営費負担金	0	0.0%	長期借入金	0	0.0%	その他資本収入	0	0.0%	その他の収入	0	0.0%	計	297	2.3%	支出			営業費用	616	6.2%	医業費用	613	6.2%	給与費	231	5.4%	材料費	357	8.4%	経費	31	2.5%	研究研修費	-6	-11.1%	一般管理費	3	7.5%	営業外費用	0	0.0%	資本支出	-197	-12.2%	建設改良費	30	22.7%	償還金	-227	-15.4%	その他の支出	0	0.0%	計	419	3.6%
区分	RI上期執行額	執行率																																																																																																																																																																													
収入																																																																																																																																																																															
営業収益	13,283	48.4%																																																																																																																																																																													
医業収益	11,621	48.7%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	1,662	51.0%																																																																																																																																																																													
その他営業収益	0	0.0%																																																																																																																																																																													
営業外収益	81	23.8%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他営業外収益	81	40.9%																																																																																																																																																																													
資本収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
長期借入金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他資本収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他の収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
計	13,364	46.3%																																																																																																																																																																													
支出																																																																																																																																																																															
営業費用	10,492	43.3%																																																																																																																																																																													
医業費用	10,449	43.3%																																																																																																																																																																													
給与費	4,520	40.2%																																																																																																																																																																													
材料費	4,606	51.4%																																																																																																																																																																													
経費	1,275	33.8%																																																																																																																																																																													
研究研修費	48	28.6%																																																																																																																																																																													
一般管理費	43	37.1%																																																																																																																																																																													
営業外費用	86	42.4%																																																																																																																																																																													
資本支出	1,413	27.9%																																																																																																																																																																													
建設改良費	162	6.3%																																																																																																																																																																													
償還金	1,251	49.9%																																																																																																																																																																													
その他の支出	0	0.0%																																																																																																																																																																													
計	11,991	40.6%																																																																																																																																																																													
H30上期執行額	増減額	増減比																																																																																																																																																																													
収入																																																																																																																																																																															
営業収益	280	2.2%																																																																																																																																																																													
医業収益	402	3.6%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	-122	-6.8%																																																																																																																																																																													
その他営業収益	0	0.0%																																																																																																																																																																													
営業外収益	64	26.6%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他営業外収益	64	26.6%																																																																																																																																																																													
資本収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
運営費負担金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
長期借入金	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他資本収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
その他の収入	0	0.0%																																																																																																																																																																													
計	297	2.3%																																																																																																																																																																													
支出																																																																																																																																																																															
営業費用	616	6.2%																																																																																																																																																																													
医業費用	613	6.2%																																																																																																																																																																													
給与費	231	5.4%																																																																																																																																																																													
材料費	357	8.4%																																																																																																																																																																													
経費	31	2.5%																																																																																																																																																																													
研究研修費	-6	-11.1%																																																																																																																																																																													
一般管理費	3	7.5%																																																																																																																																																																													
営業外費用	0	0.0%																																																																																																																																																																													
資本支出	-197	-12.2%																																																																																																																																																																													
建設改良費	30	22.7%																																																																																																																																																																													
償還金	-227	-15.4%																																																																																																																																																																													
その他の支出	0	0.0%																																																																																																																																																																													
計	419	3.6%																																																																																																																																																																													



2 収支計画（平成27年度～平成31年度）

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	113,851
営業収益	111,835
医業収益	92,827
運営費負担金収益	17,154
資産見返負債戻入	546
その他営業収益	1,308
営業外収益	2,016
運営費負担金収益	1,171
その他営業外収益	845
臨時利益	0
支出の部	110,406
営業費用	104,168
医業費用	103,343
給与費	45,320
材料費	28,362
経費	16,417
減価償却費	12,752
研究研修費	492
一般管理費	825
営業外費用	5,988
臨時損失	250
純利益	3,445
目的積立金取崩額	0
総利益	3,445

2 収支計画（令和元年度）

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	27,801
営業収益	27,474
医業収益	23,802
運営費負担金収益	3,256
資産見返負債戻入	89
その他営業収益	327
営業外収益	327
運営費負担金収益	141
その他営業外収益	186
臨時利益	0
支出の部	26,646
営業費用	25,234
医業費用	25,110
給与費	11,232
材料費	8,235
経費	3,453
減価償却費	2,038
研究研修費	152
一般管理費	124
営業外費用	1,369
臨時損失	43
純利益	1,155
目的積立金取崩額	0
総利益	1,155

2 収支計画（令和元年9月末現在）

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	13,364
営業収益	13,283
医業収益	11,621
運営費負担金収益	1,662
資産見返負債戻入	0
その他営業収益	0
営業外収益	81
運営費負担金収益	0
その他営業外収益	81
臨時利益	0
支出の部	10,578
営業費用	10,492
医業費用	10,449
給与費	4,520
材料費	4,606
経費	1,275
減価償却費	0
研究研修費	48
一般管理費	43
営業外費用	86
臨時損失	0
純利益	2,786
目的積立金取崩額	0
総利益	2,786

- ・ 非課税収入が多く、消費税額を正確に計算できないため、税込みで整理している。
- ・ 資産見返負債戻入などの非現金収入及び減価償却費などの非現金支出は、決算整理時に計上するため、9月末では見込んでいない。このため、9月末における利益（純利益、総利益）が計画に比べ大きくなっている。



3 資金計画（平成27年度～平成31年度）

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	132,761
業務活動による収入	113,543
診療業務による収入	92,999
運営費負担金による収入	18,325
その他の業務活動による収入	2,219
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	5,576
長期借入金による収入	5,576
その他の財務活動による収入	0
前期中期目標期間からの繰越金	13,642
資金支出	132,761
業務活動による支出	97,415
給与費支出	46,015
材料費支出	31,144
その他の業務活動による支出	20,256
投資活動による支出	9,809
固定資産の取得による支出	9,809
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	14,070
長期借入金の返済による支出	5,929
移行前地方債償還債務の償還による支出	8,141
その他の財務活動による支出	0
次期中期目標期間への繰越金	11,467

短期借入金の限度額

- 1 限度額 1,000百万円
- 2 想定される短期借入金の発生理由  
運営費負担金の交付時期の遅れ等による一時的な資金不足への対応

剰余金の使途

決算において剰余金を生じた場合は、将来の病院施設や医療機器の整備費用等に充てる。

3 資金計画（令和元年度）

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	44,618
業務活動による収入	27,777
診療業務による収入	23,853
運営費負担金による収入	3,399
その他の業務活動による収入	525
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	1,117
長期借入金による収入	1,117
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	15,724
資金支出	44,618
業務活動による支出	24,457
給与費支出	11,312
材料費支出	8,966
その他の業務活動による支出	4,179
投資活動による支出	2,520
固定資産の取得による支出	2,516
その他の投資活動による支出	4
財務活動による支出	2,552
長期借入金の返済による支出	823
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,683
その他の財務活動による支出	46
前事業年度からの繰越金	15,039

短期借入金の限度額

- 1 限度額 1,000百万円
- 2 想定される短期借入金の発生理由  
運営費負担金の交付時期の遅れ等による一時的な資金不足への対応

剰余金の使途

決算において剰余金を生じた場合は、将来の病院施設や医療機器の整備費用等に充てる。

3 資金計画（令和元年9月現在）

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	29,087
業務活動による収入	13,363
診療業務による収入	11,620
運営費負担金による収入	1,662
その他の業務活動による収入	81
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	0
長期借入金による収入	0
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	15,724
資金支出	29,087
業務活動による支出	12,037
給与費支出	5,169
材料費支出	4,600
その他の業務活動による支出	2,268
投資活動による支出	162
固定資産の取得による支出	162
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	1,275
長期借入金の返済による支出	412
移行前地方債償還債務の償還による支出	840
その他の財務活動による支出	23
前事業年度からの繰越金	15,613

- ・ 資金繰りは、順調である。
- ・ 短期借入は行っていない。



2 法令・社会規範の遵守  
 県立の病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。

2 法令・社会規範の遵守  
 ・ 県立の病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。  
 ・ 法人の業務の適正化を確保するため、「内部統制」、「リスク管理」、「外部通報、内部通報制度」等に関する規程を整備するとともに、組織の見直しについて検討を行う。

3 積極的な情報公開  
 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。

3 積極的な情報公開  
 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。  
 また、病院の情報発信力を高めるため、平成30年度に改修したホームページシステムを活用し、機構各部署において積極的な情報発信に努める。さらに、誰もが見やすい内容とするため、各ページの形式の統一化を進めるとともに、内容の鮮度管理を適宜監視する体制を構築する。

・ 職員のコンプライアンスの向上については、院内の研修会等で周知を徹底し、職員全員一丸となり法令、社会規範の遵守に努めている。  
 倫理委員会を開催し、院内で行われる医療行為及び医学の研究に関し、倫理的、社会的観点から審査を行った。

倫理委員会の審査状況 (単位:件)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H26上期	H27上期	H28上期	H29上期	H30上期	R1上期	
中央病院	12	12	14	15	21	25	21	24	20	15	10	12	11	10	5	(50.0%減)
北病院	16	17	12	30	29	16	29	23	31	7	10	19	11	8	4	(50.0%減)

・ 中央病院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」の本審査を平成31年2月に受審し、令和元年7月に認定を受けた。(前述P4)

・ 病院機構、中央病院、北病院がそれぞれホームページを開設し、評価委員会の評価、年度計画や決算状況、理事会の議事録等を公表するとともに、法人組織や診療案内、研修内容や公開講座の案内、採用情報等も掲載し、積極的な情報公開に取り組んでいる。  
 ・ 病院の情報発信力を高めるため、各部署においてホームページの作成、修正等が簡単に行えるよう、平成30年8月にホームページシステムを全面リニューアルした。  
 ・ 各診療科の活動、診療実績、その治療成績を病院のホームページに掲載している。

中期計画

4 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項

(1) 施設及び設備に関する計画

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設、医療機器等整備	総額 9,809百万円	国・県補助金、長期借入金等

(2) 人事に関する計画

政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、医療従事者の確保など、適切な人事管理を行う。

(3) 積立金の処分に関する計画

前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設や医療機器の整備費用等に充てる。

年度計画

4 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項

(1) 施設及び設備に関する計画

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設、医療機器等整備	総額 2,253百万円	国・県補助金、長期借入金等

(2) 人事に関する計画

政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、医療従事者の確保など、適切な人事管理を行う。

(3) 積立金の処分に関する計画

前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設や医療機器の整備費用等に充てる。

令和元年度上半期 業務実施状況

- 政策医療を着実に実施するため、必要な人員を確保できるよう採用試験を複数回実施している。  
看護師 予定回数 6回（6回実施済）  
医療技術者 予定回数 3回（2回実施済）
- 長期借入金、繰越積立金等を財源として、病院の施設及び設備の整備を計画している。

高度医療機器の整備の状況(主なもの)

(単位:万円)

中央病院	購入理由	金額	契約	執行
検査部生化学・免疫等検査機器一式	更新	17,708	プロポ	R1
移動式X線透視診断装置(Cアーム)等一式	更新	5,908	プロポ	R1
生体情報モニタリングシステム	更新	3,910	一般	R1
閉鎖式保育器	更新	2,745	一般	R1
ベッド	更新	2,482	一般	R1

高度医療機器の整備の状況(主なもの)

(単位:万円)

北病院	購入理由	金額	契約	執行
全自動錠剤散薬分包機	更新	1,590	一般	R1

改善(主なもの)

(単位:万円)

中央病院	R1予定額	工事期間
精神・身体合併症病棟増築工事	16,167	H30~R1
二次救急処置室設置工事	9,185	R1
非常用発電機設備整備	5,830	R1

北病院	R1予定額	工事期間
1B病棟18・19号室改修工事	1,178	R1
デイケア棟電気工事	168	R1